

4商工第7号

横根就業センター解体工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書（そのⅠ）	A-15	展開図-2	E-02	電気設備工事（結線図）-1
A-02	特記仕様書（そのⅡ）	A-16	展開図-3	E-03	電気設備工事（結線図）-2
A-03	配置図、見取図、面積表	A-17	展開図-4	E-04	平面図（電気設備工事 幹線、弱電）
A-04	仕上表	A-18	建具キープラン	E-05	平面図（電気設備工事 動力）
A-05	平面図-1	A-19	建具表	E-06	平面図（電気設備工事 電灯）
A-06	平面図-2（渡り廊下）			E-07	平面図（電気設備工事 コンセント）
A-07	屋根伏図（渡り廊下）	S-01	基礎伏図、床伏図、部材リスト	E-08	照明器具姿図
A-08	立面図-1	S-02	軸組図、基礎詳細図		
A-09	立面図-2（渡り廊下）	S-03	ラーメン図	M-01	機械設備工事特記仕様書（そのⅠ）
A-10	立面図-3（渡り廊下）	S-04	基礎伏図、基礎詳細図（渡り廊下）	M-02	機械設備工事特記仕様書（そのⅡ）
A-11	短計図	S-05	伏図、部材リスト（渡り廊下）	M-03	配置図（機械設備）
A-12	階段詳細図	S-06	軸組図（渡り廊下）	M-04	機器リスト、配管系統図
A-13	断面詳細図（渡り廊下）			M-05	平面図（給排水設備）
A-14	展開図-1	E-01	電気設備工事特記仕様書	M-06	平面図（暖房設備）

魚沼市産業経済部商工課

横根就業センター

解体工事設計図

魚沼市産業経済部商工課

令和 年 月 (全 枚)

建物概要

工事場所	魚沼市横根2461番地1
敷地面積	500.0㎡
用途	就業センター
構造・階数	鉄骨造 2階建、鉄骨造 平屋建
建築面積	202.02㎡ + 24.0㎡ (うち解体 226.02㎡)
延べ面積	404.04㎡ + 24.0㎡ (うち解体 428.04㎡)
区域区分	区域区分未設定都市計画区域
用途地域	
防火地域	法第22条地域指定なし
その他の区域	騒音規制法による規制 ※あり (第 号区域) 〇なし 振動規制法による規制 ※あり (第 号区域) 〇なし 砂防指定地内 〇あり ・なし 地すべり防止区域 〇あり ・なし

※建物の棟別の詳細は、設計図を参照。

施工条件

項目	適用・条件等
①作業時間等	※指定あり ・指定なし (ありの場合の条件) ・騒音、振動規制法による作業禁止日、時間帯 (特定建設作業に限る。) ・夜間作業 ※行わない
②駐車場その他	工事用車両の駐車場所 〇場内 (任意) ・図示 資機材の置場所 〇場内 (任意) ・図示
③着手前対応	※工事に先立ち、周辺住民に対して工事説明を行なう。(発注者同席予定) (説明会予定時期・令和 年 月頃・実施時期未定) ※建築物除届 ※必要 (施工者作成とする。)
4 その他施工条件	

仕様書

I 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 建築物解体工事共通仕様書 平成31年版」(以下「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 平成31年版」(以下「標仕」という。)による。

2. 解体共仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
(1) 「工事請負契約書」を「新潟県財務規則(昭和57年3月4日新潟県規則第10号)別記(第78条関係) 魚沼市財務規則 建設工事請負基準約款」(以下「約款」という。)に読み替える。
(2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する解体共仕の項目について、解体共仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(イ) 1章 1-1-2用語の定義の(イ)～(ウ)及び(セ)。
(ロ) 1-6-1工事検査の(イ)及び(ウ)。

4. 解体共仕の次の項目の規定は適用しない。
1章 1-1-2用語の定義の(イ)～(ウ)及び(セ)。
1-6-2技術検査。

別表 (建築工事)

号	項目	置き換え後の解体共仕の規定
	1章 一般共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(7) 「監督員」とは、約款第10条の規定に基づき発注者に通知された者をいう。 (ウ) 「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書及び新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。

(1) 1.1.2 用語の定義

(イ) 「工事検査」とは、約款に基づき次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査 (ただし、②に係る検査を除く。)を含む。
① 工事の完成 (約款第32条)
② 部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等 (約款第38条)
③ 部分引渡し指定部分に係る工事の完成 (約款第39条)
④ 契約の解除時における出来形部分 (約款第48条)
⑤ 必要があると認めたとときの臨時検査 (約款第50条)

(2) 1.6.1 工事検査

(2) 約款に基づき部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。
(3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査並びに約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

II 特記仕様

1. 項目は、番号に 〇印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、〇印の付いたものを適用する。
〇印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
〇印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項に記載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
特記事項に記載の(標仕)内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。

章 項目

特記事項

1 ① 工事実績情報の登録 (CORINS)

※請負工事費 500万円以上の場合は登録する。(1.1.4)

2 監理技術者の要件

※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置できること。
1 建築工事の施工に関し、10年以上の実務経験を有すること。
2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。

3 電気保安技術者

※要() (1.3.3)

4 解体工事における監督者の要件

※解体工事の施工は、次のいずれかの者の監督の下で実施すること。
1 解体工事施工技士
2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後1年半以上の者で、建設リサイクル法で定める「技術管理者」の資格要件を有する者。

⑤ 施工条件

※解体共仕によるほか、左記施工条件及び図示による。(1.3.5)

⑥ 交通安全管理 (出入りの管理)

※工事現場への出入口には、解体工事期間中、交通誘導員等を配置し、公衆の交通に支障をあたえないようにしなければならない。又、近接して他の建設工事等が行われる場合には、施工者間で交通の誘導について十分な調整を行い、交通の安全を図らなくてはならない。
※工事現場への車両等を出入りさせる場合には、道路構造物及び交通安全施設等に損害を与えることのないよう注意しなければならない。なお損傷させた場合は、直ちに当該管理者の指示により復旧しなければならない。

(巡 視)

※交通安全巡視員等により工事現場内及びその周辺の安全巡視を敢行し、事故防止設備の完備及びその維持管理に努めなければならない。

⑦ 周辺構造物対策

※工事にあたって、周辺地盤のゆるみ又は沈下、構造物の破損、汚損等に十分注意するとともに、必要に応じて構造物の補強又は養生等について、その構造物の管理者とあらかじめ協議し、危害防止のための措置を講じなければならない。

⑧ 公共設備等への対策

※工事による影響があると思われる範囲内の公共埋設物、架空線等の処理等について、十分配慮して工事しなければならない。
公共の埋設物、架空線等に接近して工事を施工する場合は、あらかじめその埋設物、架空線等の関係者と協議し、施工の各段階における保安上必要な措置、埋設物、架空線等の防護方法、立会の有無、緊急時の連絡先及び連絡方法等を決定しておかなければならない。

⑨ 発生材の処理

※構外搬出適切処理 (1.3.10)
発注者に引渡しを要する発生材
・ PCB含有物
・ 金属類
工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの

10 施工数量調査

調査範囲 ・ 図示 (1.4.2)
調査方法

11 完成図等

※下記のものを作成し提出する。作成方法・部数等は、監督員の指示による。
・ 案内図及び配置図
・ 残置物等の配置図
※竣工図 (A1 部 A3 部) ・ CADデータ
・ 下記図面をCADデータ化し電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。
案内図、配置図、残置物等の配置図、その他監督員が指示した図面

12 施工図等の取扱

施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

⑬ 工事完成写真

工事完了後、整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 1 部

⑭ 工事施工状況写真

撮影は、工事に係る材料、施工状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領 (平成31年版)・同解説 工事写真の撮り方 建築編」を参考に、撮影計画書を作成して監督員に提出する。
ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。
※提出部数 1 部

2 仮設工事

① 騒音・粉じん等の対策

※防音パネル ・ 防音シート 〇養生シート (2.2.1)
防音パネルの設置範囲と高さ
設置範囲:
高 さ:
外部足場は枠組足場とする。(2.2.2)
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同「ガイドライン」の別紙「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

② 足場その他

内部解体足場 ・ 梁架足場 〇 枠組棚足場 ・ 枠組本足場 ・ 脚立足場

③ 総合仮設計画

※現場作業の安全確保、及び第三者災害の防止を目的として総合仮設計画を作成し、監督員の承諾を受ける。
4 監督員用事務所等
・ 監督員事務所 ・ 10 ・ 20 ・ 35 ・ 65 ・ m程度を設ける。(2.3.1)
・ 仮設事務所の中に監督員用空間を m程度確保する。
・ 監督員が使用できる備品として、下記のことを工事期間中現場に用意し、貸与する。
・ 保護帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組

⑤ 工 事 用 水

構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる (※有償 ・ 無償)

⑥ 工 事 用 電 力

構内既存の施設 ※利用できない ・ 利用できる (※有償 ・ 無償)

⑦ 仮 設 建 物 等

現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。

8 山留めの撤去

埋め戻し ・ 砂 (2.4.3)

3 解体施工

① 事前措置

※浄化槽・排水槽等の汚水・汚物等を処理し、洗浄、消毒等を行う。(3.2.1)
※オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油を処理し、洗浄等を行う。

② 機器等の解体

※工事範囲内の機器類は、各種別ごとに分別解体する。(3.4.1)
設備機器等は専門業者又はメーカーが解体し、バッテリー液・フロンガス等とは関係法令に基づき適正に処分する。

3 基礎及び杭

杭の撤去 ※行う ・ 残置
残置または一部撤去の場合の処理
※杭種、杭径、位置、杭頂部高さ等の記録を整備し、監督員に提出する。
解体方法 ※引抜き ・ 破砕 ・ 杭頭はつり (mまで)
引き抜いた杭の処理
杭撤去跡の処理 ・ 山砂 ・ 流動化処理土 ・ セメントミルク
杭の種類
・ 遠心力鉄筋コンクリートくい ・ 高強度プレストレスコンクリートくい
・ 場所打ちコンクリートくい ・ 木くい
・ RCパイル
建物名等 杭径 長さ 本数 備考

4 さく、照明設備等の付属物

付属物の解体 ・ 行わない ・ 行う (・ 図示) (3.10.1)

5 構内舗装等

樹木等の伐採 ・ 伐根 ・ 行わない ・ 行う (・ 図示) (3.11.1)
支障となる樹木の移植 ・ 行わない ・ 行う (・ 図示)

6 地下埋設物及び埋設配管

撤去する地下埋設物、埋設配管 (3.12.1)
・ あり (・ 図示) ・ なし

⑦ 解体後の整地

埋戻し及び盛土 〇 A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 (標仕3.2.3) (標仕表3.2.1)
発生土の処理 ・ 構内指示の場所 (・ 数均し ・ 堆積) (標仕3.2.5)
・ 構外搬出適切処理 (指定場所:)
・ 処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする

8 火気使用作業等

※解体工事時にガスバーナーでオイルタンクやアスファルト防水層の近くを切断する時、爆発や火災発生の危険性がある場合には、事前に所轄の消防署へ連絡し、適切な措置を講じて作業しなければならない。

4 ① 再資源化等

中間処理、再資源化施設 ※「追加特記6 建設廃棄物の処理」による。(4.4.1)
再資源化する建設廃棄物
※建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 ※金属類
※資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品
※資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品
・ 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物
・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ ガラス
指定建設資材廃棄物としての木材の縮減(焼却) ※不可 ・ 可
再資源化して現場で利用する建設廃棄物

4 建設廃棄物の処理

2 処 理 に 注 意 を 要 する建設廃棄物

処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1)
・ セッコウボード(石綿含有) ・ セッコウボード(ひ素・カドミウム含有)
・ セッコウボード(上記以外)
・ CCA処理木材(クロム・銅・ひ素化合物系防腐処理木材)
処理の方法
・ 解体共仕第4章5節による。
施工に先立ち、処理計画書を作成し、監督員の承諾を受けること。

5 ① 廃 石 綿 等

※6 石綿含有建材の除去及び処理による。(5.4.1(1))

2 PCB含有機器類

調査方法 ※製造所、製造年、型式等による調査 (5.4.1(2))
・ 専門分析機関による微量PCB分析調査
調査対象
上記のほかにも含有が疑われる機器があった場合は調査を行う。

3 PCB含有シーリング材

事前調査等 ・ 行う (下記の要領で分析する) ・ 行わない (5.4.1(3))
現場においてマプルを採集し、専門分析機関で分析を行う。
採取箇所 ※外壁目地 ・ 建具周囲目地 ・ 図示
採取箇所数 ・ 部材が異なる毎に1箇所 ・ 図示
分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う。
調査範囲 ※工事範囲全て ・ 図示
調査内容 シーリング使用部位及び長さの確認
施工範囲と工事監視区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法

④ 廃 油

処理方法 〇 焼却処分 ・ 中間処理施設による再生処理 (5.4.1(4))

5 廃酸・廃アルカリ

処理方法 ・ 中和処理 ・ 焼却処分 (5.4.1(5))
・ 中間処理施設による再生処理

6 ダイオキシソソ類

サンプリング調査 ・ 行う ・ 行わない (5.4.1(6))
材 料 名 調査箇所 測定方法

焼却施設の解体及び処分の方法
ダイオキシソソ類対策特別措置法施行令 (平成11年政令第 433号)その他関係法令に従い、適切に処理すること。

6 石綿含有建材の除去及び処理

① 共 通

※建築物の解体等工事、石綿除去について、以下の基準を適用する。
・ 建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等ばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針 (平成26年3月31日付け 技術上の指針公示第21号)
・ 建築物の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル (建設労働災害防止協会)
・ 建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2014.6 (環境省水・大気環境局大気環境課)
・ 石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について (平成29年5月30日付け 環水大大発第1705301号)
・ 石綿含有仕大気汚染防止法の一部を改正する法律について (令和2年11月30日付け 環水大大発第2011301号)
・ 石綿障害予防規則等の一部を改正する省令等の施行について (令和2年8月4日付け 基発0804第8号)
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。(6.1.3)
貸与資料 〇
分析による石綿含有の調査 ・ 行う (下表による) ・ 行わない
材 料 名 定性分析方法 定量分析方法

	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所

上記以外に調査が必要と思われる箇所があった場合は、監督員と協議すること。

3 石 綿 粉 じ ん 濃 度 測 定

石綿粉じん濃度測定 ・ 行う ・ 行わない [6.1.4]
測定時期、場所及び測定点

適用測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各処理作業室ごと)
・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内	・ () 点
・ 測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点
・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内	・ () 点
・ 測定 4		排気装置の集じん・排気装置の出入口 (処理作業室内の場合)	・ () 点
・ 測定 5		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点
・ 測定 6		処理作業室内	・ () 点
・ 測定 7		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点
・ 測定 8			

仕様書(そのI)

Ver. 030401

設計者等氏名

建設士登録番号等

工事名称

図面名称

年月日

図面番号

有限会社 サクラ イ 設 計

新 潟 県 魚 沼 市 小 出 島 1 2 0 9 番 地 1 6 (小 出 東 町)

一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3386 FAX 792-9990

一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂 大 健 一

浅 井 守 人

一級建築士登録 第242222号

横 井 準 治

一級建築士登録 第125055号

横根就業センター解体工事

2022. 07

特記仕様書 (そのI)

電 機

6

石綿含有建材の除去及び処理

3

石綿粉じん濃度測定

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称		測定方法	
・測定 4		粉じん相対濃度(ゲジナル粉じん)計、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リタイルファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	
・測定 5			

・JIS K 3850-11に基づいた測定

測定名称		ろ過ろ材の直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4	・測定 5	25	5	30
・測定		47	10	120
・測定		47	10	240
・測定				

4

石綿含有吹付け材の除去

除去工法

(6.3.2)

※解体共仕第6章3節による。

5

石綿含有保温材等の除去

除去工法

(6.4.3)

※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらして行う。
○掻き落とし・破砕・切断等による除去を行う。
※「3 石綿含有吹付け材の除去」により、作業場を隔離する。

6

除去した石綿含有吹付け材等のこん包及び飛散防止

除去した石綿含有吹付け材・保温材等のこん包及び飛散防止

(6.3.2)(6.4.3)

※密封処理(二重袋梱包)
※湿潤化
・固化化(※セメント固化)

7

石綿含有成形板の除去

作業場の区画

(6.5.2)

建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。
石綿含有成形板の種類

材料名	使用部位	厚さ(mm)	備考
石綿板	1階便所 壁	5	
石綿板	1階便所 天井	4	

※上記以外に石綿含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。

8

除去した石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等

除去した石綿等の処理

(6.3.3)(6.4.4)(6.5.4)

※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分
・中間処理
・アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理
・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理

7

追加特記

1

公共事業労務費調査への協力

2

工事監理方式

3

適用基準等

4

工事成績評定

5

工事機械(機械の選定)

(組立及び解体)

(使用及び移動)

(移動式クレーン)

(排出ガス対策型等建設機械)

※協力する

共同監理 ・ 有り ・ 無し

・営繕工事電子納品要領(国土交通省大臣官庁営繕部整備施設評価審査監修)※工事運行マニュアル(新潟県土木部都市局営繕課作成)

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は、工事運行マニュアルによる。)

※機械の選定に当たっては、地域の安全及び環境対策上、転倒、騒音、振動等について十分注意して行なわなければならない。また工事規模、施工方法等に見合った、安全な作業ができる能力をもった機械を選定しなければならない。機械の能力を十分に把握・検討し、その能力を超えて使用してはならない。

※機械の組立及び解体に当たっては、機械に精通した者の直接の指導により、定められた手順を厳守しなければならない。

※建設機械を使用し又は移動させる場合は、機械類に関する関係法令を厳守し、架線その他の構造物に接触し、若しくは定められた範囲以上に近接し、又は道路等に損害を与えることがないようにしなければならない。
※建設機械を作業させる範囲は、原則として工事現場内としなければならない。
やむを得ず工事現場外で使用させる場合には、作業範囲内へ立ち入りを制限する等措置を講じなければならない。
※架線、構造物又は工事現場の境界に近接して建設機械を使用する場合には、車止めの措置、ブームの回転に対するストッパーの使用、近接電線に対する絶縁材の装着、見張り員の配置等の措置を講じなければならない。

※移動式クレーンの選定に当たっては、自立できるもので、施工条件、近隣環境等と施工計画との関連を検討して、安全な作業ができる能力を持った機械を選定しなければならない。
※移動式クレーンを使用する場合には、作業範囲、作業条件を考慮して、安定度、接地圧、アウトリガーの反力等の検討・確認を行い、適切な作業地盤上で使用しなければならない。
※移動式クレーンを使用する場合には、高所及び敷地周辺から、吊荷、吊具等の落下、飛散等に十分注意すると共に、これらによる危害を防止するための措置を講じなければならない。

※共通事項特記仕様書「排ガス対策型建設機械等に関する特記仕様書」による。

6

建設廃棄物の処理等

1

再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2

建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3

建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名/施設名称	
工事場所/施設所在地	
連絡先	
仮置場所の有無	
備考	

4

建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	金属屑	コンクリート・砂利
処理施設名称	(有)渡辺鋼鉄店	桜井石材リサイクル
施設所在地	魚沼市四日町381-1	魚沼市下倉1241-1
連絡先	025-792-6140	025-792-0353
備考		

搬出する廃棄物名	ガラス陶磁器屑	どろり塩化ビニル等混合物
処理施設名称	魚沼環境(株)	魚沼環境(株)
施設所在地	長岡市川口田麦山109	長岡市川口田麦山109
連絡先	0258-89-2921	0258-89-2921
備考		

搬出する廃棄物名	木屑	廃油
処理施設名称	魚沼環境(株)	三島谷興産(株)
施設所在地	長岡市川口田麦山109	長岡市大積三島谷町1253
連絡先	0258-89-2921	0258-47-0131
備考		

搬出する廃棄物名	石綿廃棄物	
処理施設名称	(株)フィルテック	
施設所在地	岐阜県可児市広見1-47	
連絡先	0257-62-2121	
備考		

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。
なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5

建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6

再生資源利用計画書を作成するものとする。

7

再生資源利用促進計画書を作成するものとする。

8

自ら産業廃棄物を運搬・処分する場合以外は、委託契約書の写しを提出すること。

9

特殊な副産物の処理等については、解体共仕第7章3節による。

10

有価物について
当該工事における、有価物については下記の通り取り扱う。
(1)鉄屑等金属類及び電線等は有価物として処分を行うこと。
(2)数量はクランプ業者の計量伝票を根拠とする。
(3)鉄屑等有価物の売り払い明細書を作成し、市に納入すること。
(4)納入方法は契約後に市が発行する納付書により入金すること。

11

協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、1～9の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

仕様書(そのⅡ)
Ver.030401

設計者等氏名
浅井守人
櫻井準治

建築士登録番号等
一級建築士登録 第242222号
一級建築士登録 第125055号

工事名称
横根就業センター解体工事

年度
2022.07

図面名称
特記仕様書(そのⅡ)

縮尺

図面番号
A-02

電機
構機

有限会社 サクライ設計

新潟県魚沼市小出島1209番地16(小出東町)
一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3366 FAX 792-9900
一級建築士登録 第212355号号 管理建築士 坂大健一

外部仕上表

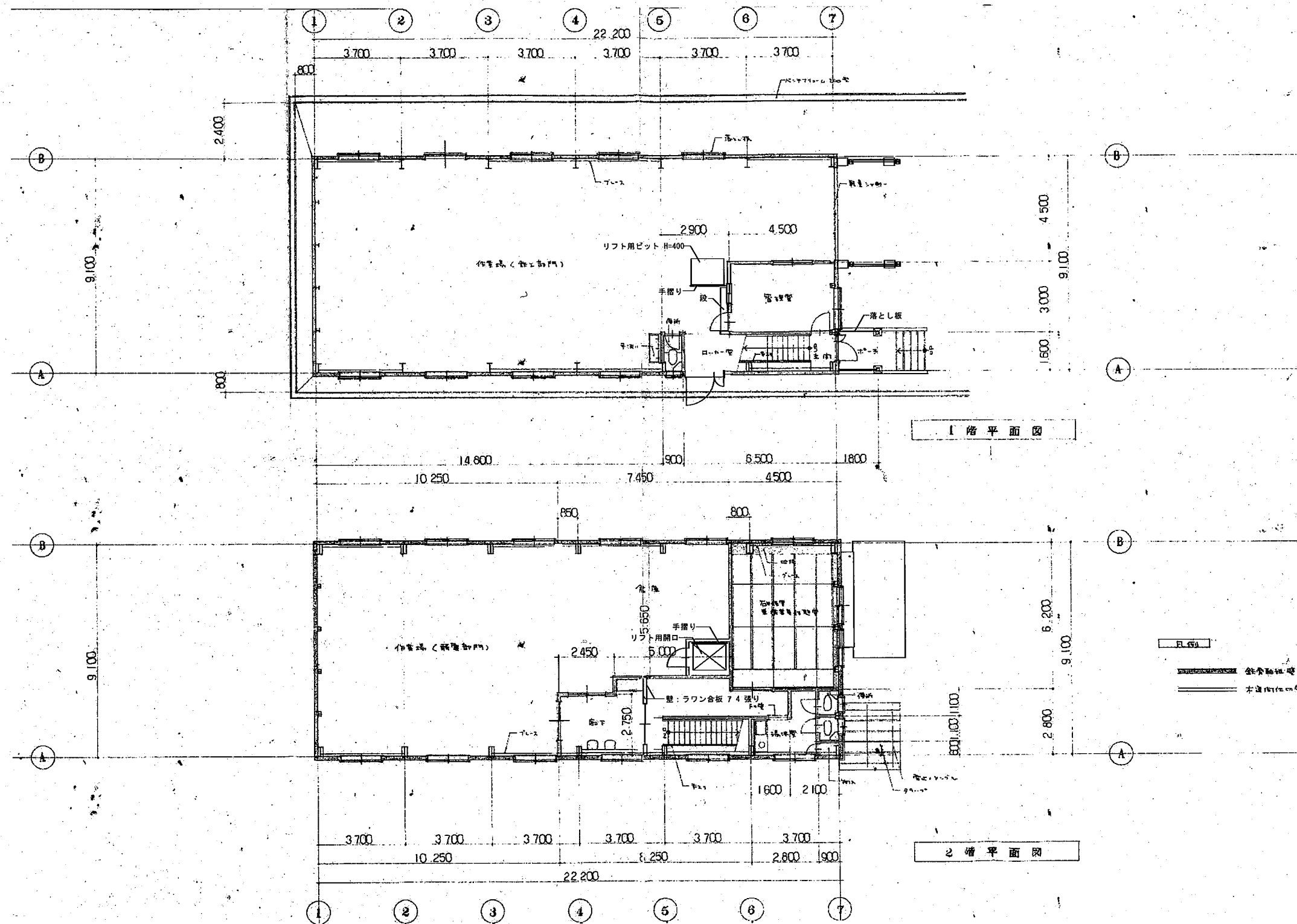
名	称	仕	上
屋	根	長尺カラー鉄板①0.4 ^{mm} 覆木架立体系 (アスファルト・ファングZ ² 2 ^{mm} 断地板 コニベネ合板①12 ^{mm}) 雪止アングル L-40×40×3 鉛×キヌ ¹ SOP全、受金物スリ・スロープ ² 接合	
断	基	リブ波カラー鉄板①0.32 ^{mm} (石膏ボード①9 ^{mm} 貼) 押気口 10 ^{mm} ×400 ^{mm}	
外	壁	角波カラー鉄板①0.32 (石膏ボード①9 ^{mm} 貼)	
道	基	鉄骨用アルミサシ 見込 60 ^{mm} 雪囲、用金物 4型市販品 SOP全、ビレ用アルミサシ 見込 60 ^{mm}	
地	覆	コンクリート打放仕上	
大	走	コンクリート即時金鍍仕上	
歩	手	モルタル塗り金鍍仕上 天井……石膏ボード①9 ^{mm} リブ波カラー鉄板①0.32 ^{mm} 壁……鉄板①1500 ^{mm} ×4、軒端カラー鉄板①10500 ^{mm} ×4 半円形	

内部仕上表

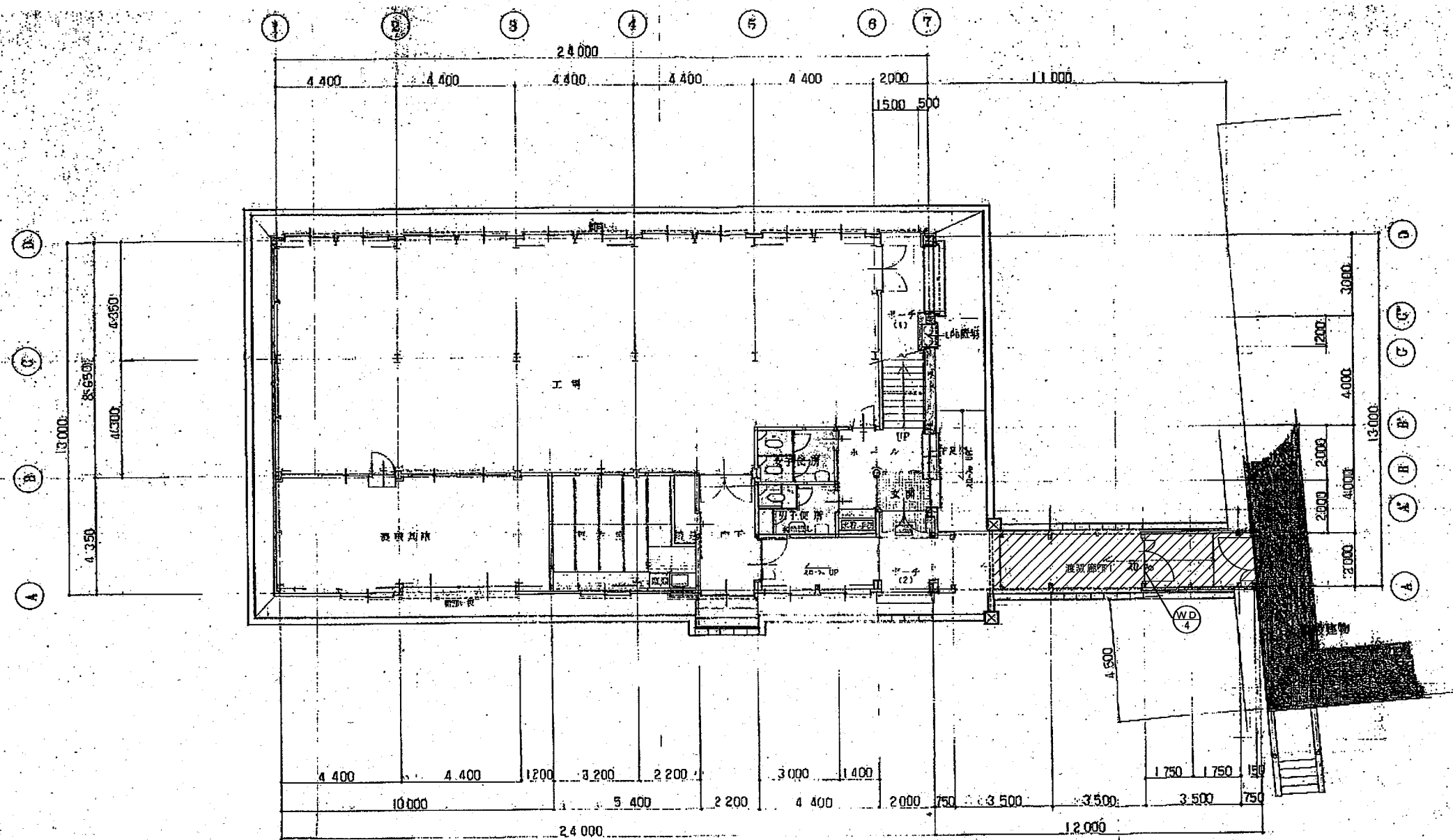
階	室名	床	巾	木	腰	壁	天	井	備	考
1	管理室	モルタル塗り金鍍上 70 ^{mm} ×90 ^{mm} 仕上	モルタル塗り金鍍 VP塗	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} ビニールクロス張り	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} ビニールクロス張り	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} ビニールクロス張り	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} ビニールクロス張り	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} ビニールクロス張り	壁名札、木部 OP塗	
	ロッカー室	同 上	同 上	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	"	"
	便所	同 上	同 上	同 上	同 上	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	"	"
	作業場(鉄部内)	コンクリート即時金鍍仕上	モルタル塗り金鍍仕上	モルタル塗り金鍍仕上	モルタル塗り金鍍仕上	モロイ ¹ ボード①12.5、一部モロイ ¹ ボード (塩ビジョイナー使用) VP塗	化粧石膏ボード79.5張り	化粧石膏ボード79.5張り	"	手洗、天井 ² 、天井 ³
	玄	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗			モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗		
	庫									
2	作業場(鉄部内)	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	壁名札、木部 OSCL全	
	倉庫	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	"	木部 OP塗
	作業場(鉄部内)	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	"	"
	倉庫	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	壁名札	
	便所	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モルタル塗り金鍍 VP塗	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	"	木部 OP塗
	入	モルタル塗り金鍍仕上	モルタル塗り金鍍仕上	モルタル塗り金鍍仕上	モルタル塗り金鍍仕上	モロイ ¹ ボード①12 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗	モロイ ¹ ボード①9 ^{mm} (塩ビジョイナー使用) VP塗		
大	階	踏面、モルタル塗り金鍍 VP塗	鉄部 SOP全、木部 OP塗							

共通事項

- 1 鉄部材料金工、ガラス・パネル①50^{mm} 取付とす。
- 2 鉄部金鍍用塗料(タタケ E522) (風速とす。
- 3 石膏ボードは全、塩ビジョイナー使用(2) (見理部: 限3.)



<p>備考</p>	<p>有限会社 サクライ 設計</p> <p>新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)</p> <p>一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3585 FAX 792-9900</p> <p>一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂大 健一</p>	<p>設計者等氏名</p> <p>浅井 守人</p> <p>櫻井 準治</p> <p>建築士登録番号等</p> <p>一級建築士登録 第242222号</p> <p>一級建築士登録 第125055号</p>	<p>工事名称</p> <p>横根就業センター解体工事</p> <p>図面名称</p> <p>平面図-1</p>	<p>年月日</p> <p>2022.07</p> <p>縮尺</p> <p>図面サイズ A1 1/100 図面サイズ A3 1/200</p> <p>図面番号</p> <p>A-05</p> <p>電 機</p> <p>構 造</p>
-----------	--	---	--	--

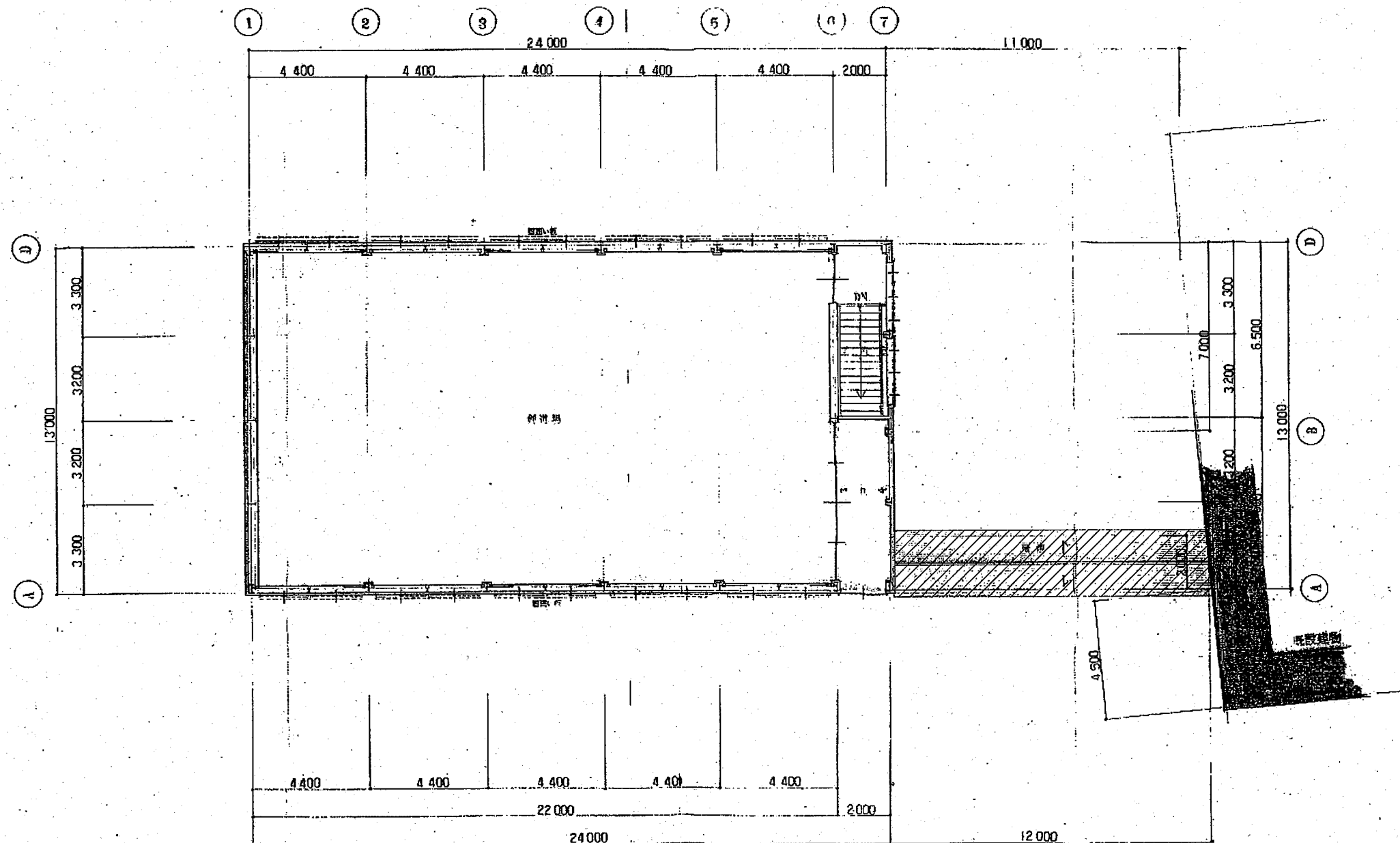


1階平面図 S=1:100

横根バイタリティセンター

解体部分

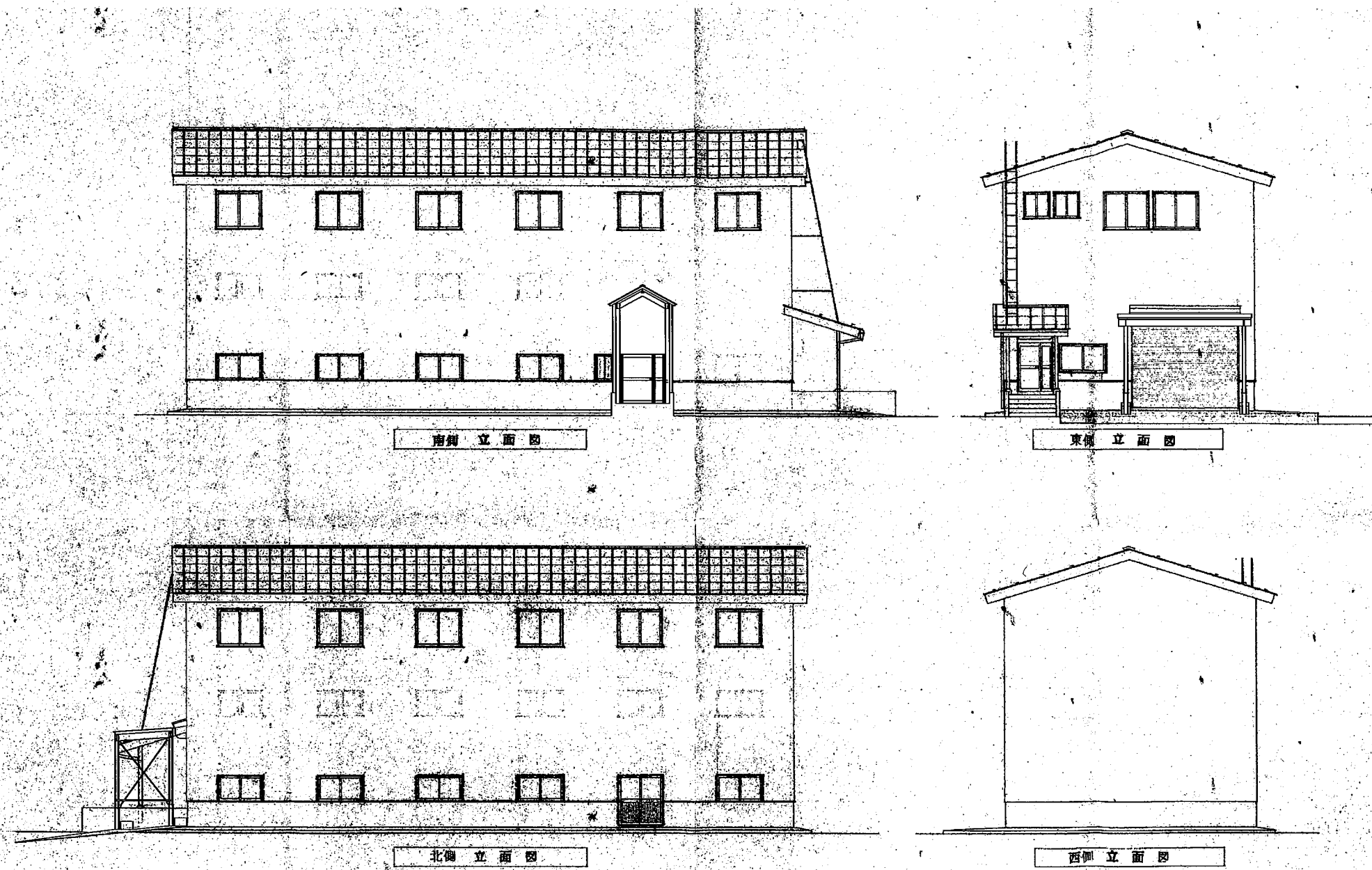
備考	鳥 有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586 FAX 792-9090 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂大 健一				設計者等氏名 浅井 守人 櫻井 準治	建築士登録番号等 一級建築士登録 第242222号 一級建築士登録 第125055号	工事名称 横根就業センター解体工事 図面名称 平面図-2 (渡り廊下)	年月日 2022. 07	図面番号 A-06
								縮尺 1/100	電 機 構 機

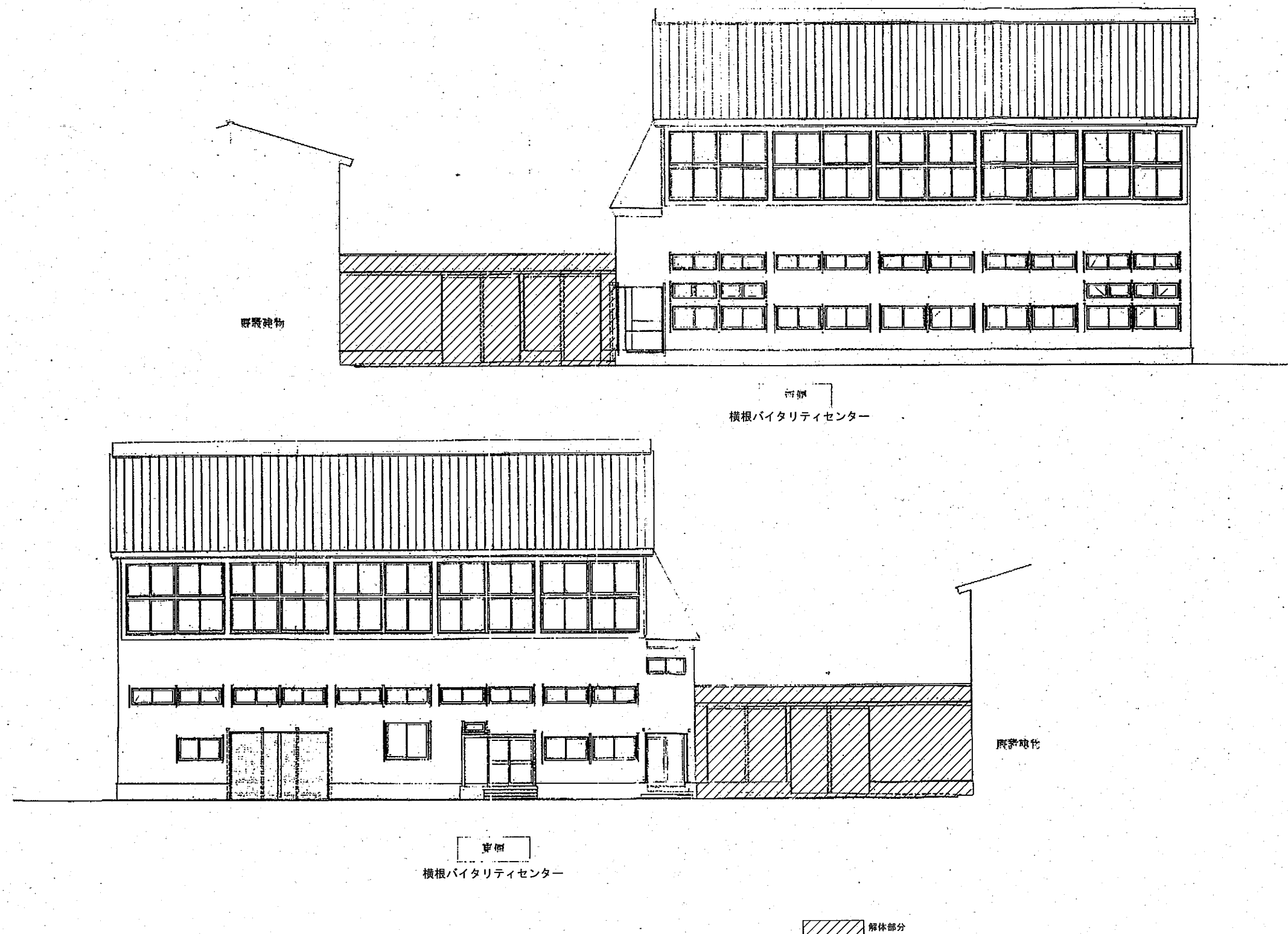



2階平面図 S=1:100

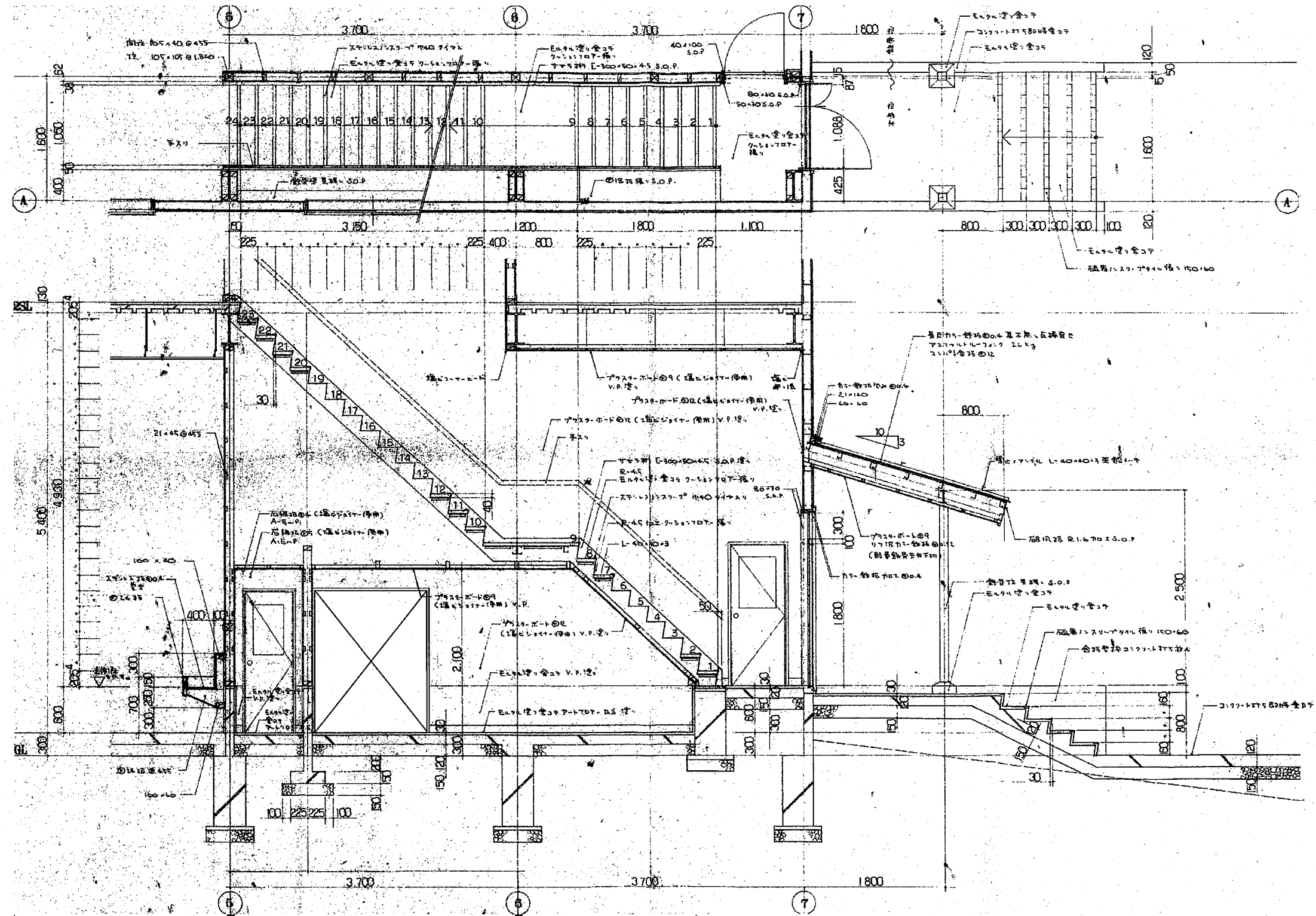
横根バイタリティセンター

解体部分

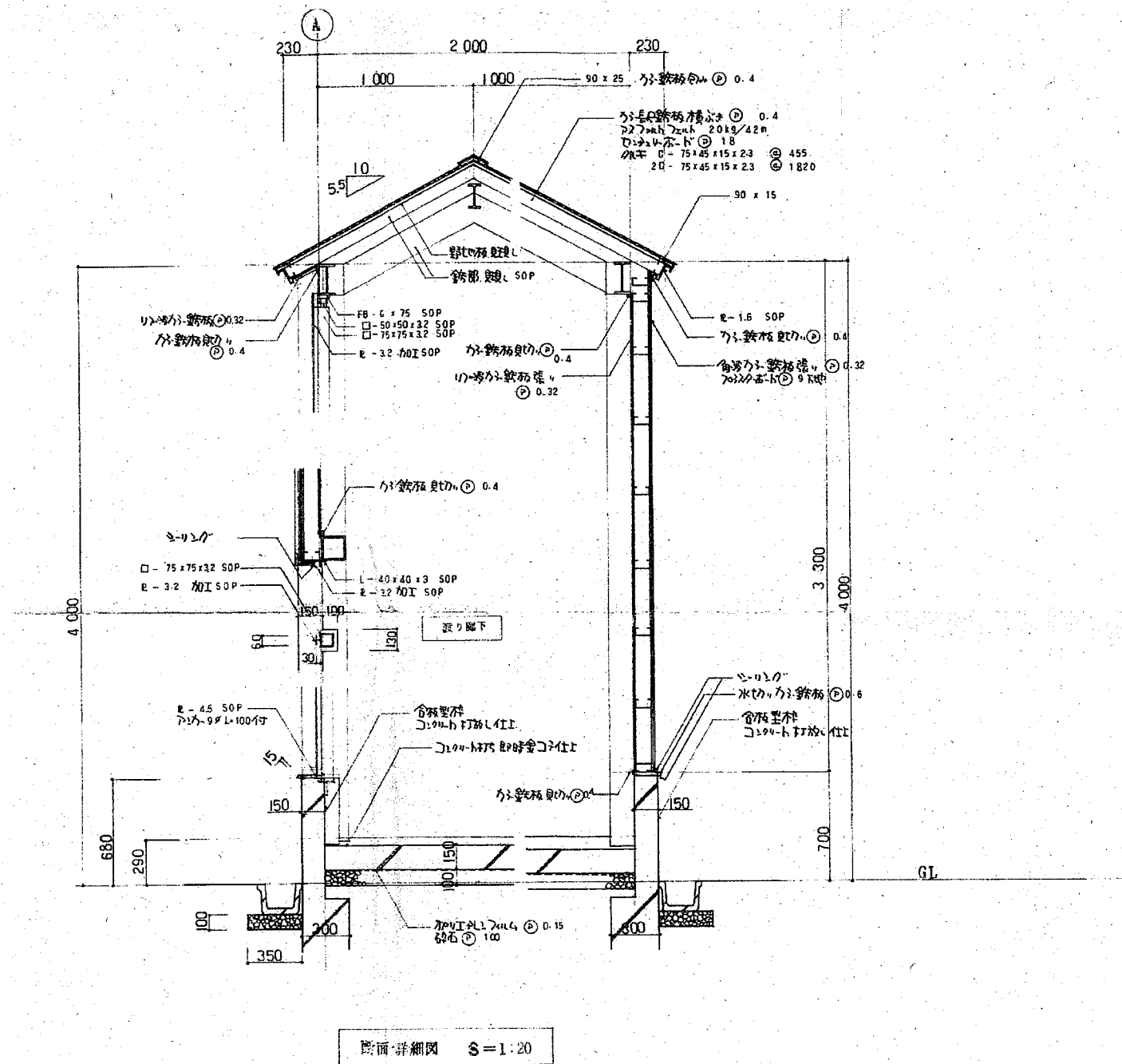




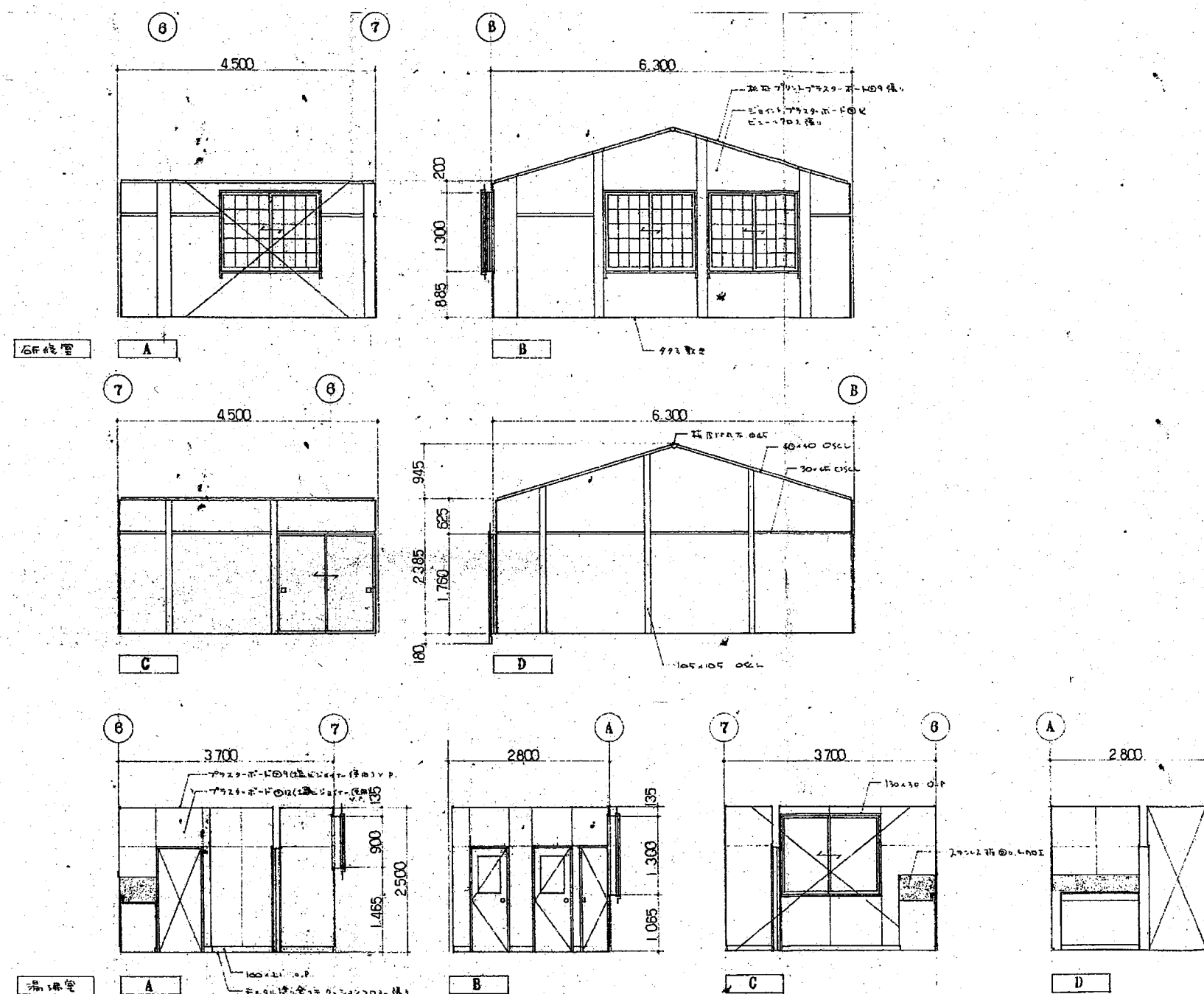
 解体部分



<p>鳥 有限会社 サクライ 設計</p> <p>新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)</p> <p>一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586 FAX 792-9990</p> <p>一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂 大 健 一</p>	<p>設計者等氏名 建築士登録番号等</p> <p>浅井 守人 一級建築士登録 第242222号</p> <p>櫻井 準治 一級建築士登録 第125055号</p>	<p>工事名称 横根就業センター解体工事</p> <p>図面名称 階段詳細図</p>	<p>年月日 2022.07 図面番号 A-12</p> <p>縮尺 原図サイズ A1 1/30 図面サイズ A3 1/80 電 機 機 械</p>
--	--	--	--



<p>図号</p>	<p>有限会社 サクライ 設計</p> <p>新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)</p> <p>一級建築士事務所登録(力)第1925号 TEL 025-792-3586 FAX 792-9900</p> <p>一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂大健</p>	<p>設計者等氏名</p> <p>浅井 守人</p> <p>櫻井 準治</p>	<p>建築士登録番号等</p> <p>一級建築士登録 第242222号</p> <p>一級建築士登録 第125055号</p>	<p>工事名称</p> <p>横根就業センター解体工事</p> <p>断面名称</p> <p>断面詳細図 (渡り廊下)</p> <p>年月日</p> <p>2022. 07</p> <p>縮尺</p> <p>縦横 1/20 1/40</p> <p>図面番号</p> <p>A-13</p> <p>電 機</p> <p>構 造</p>
-----------	--	---	---	--



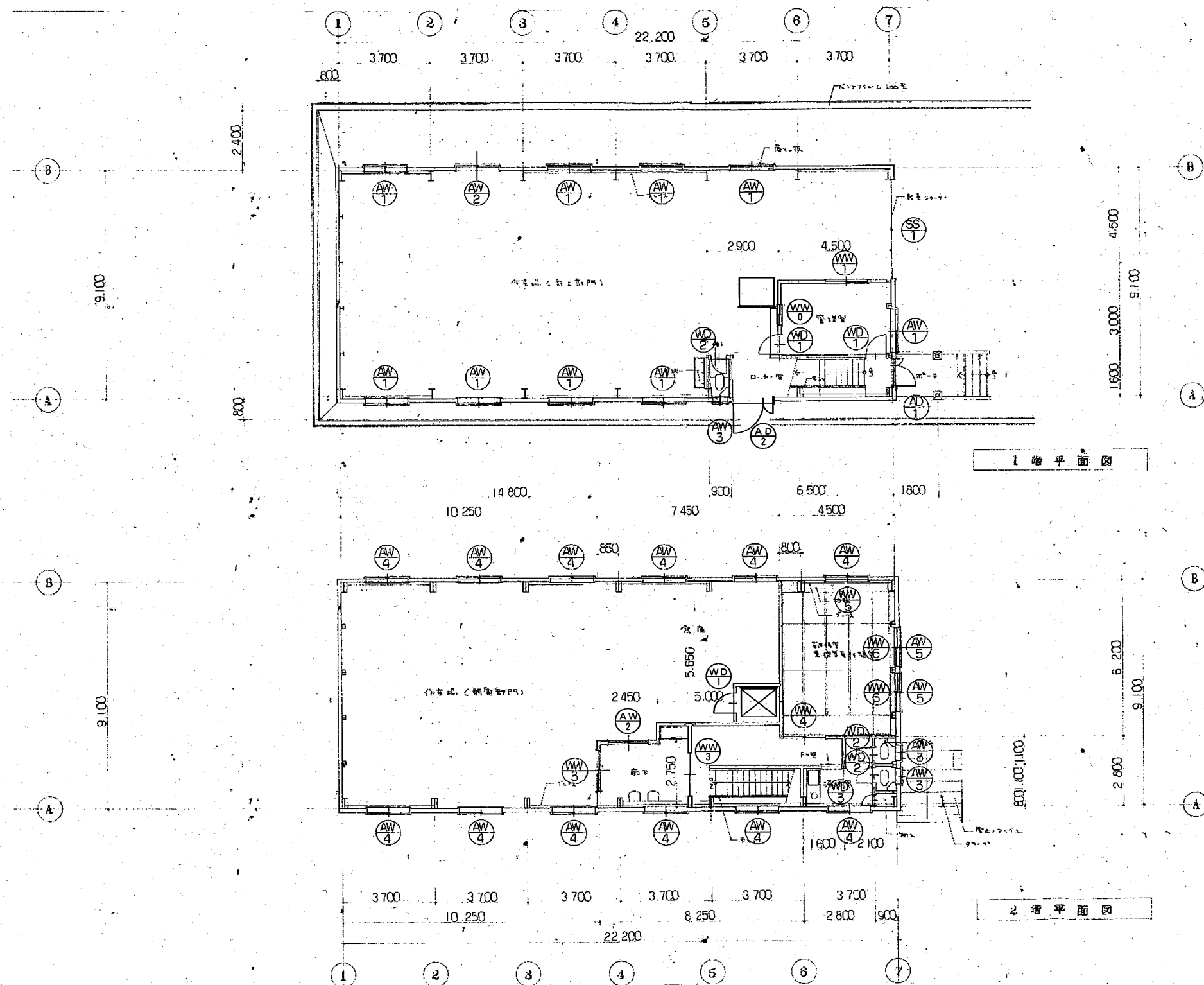
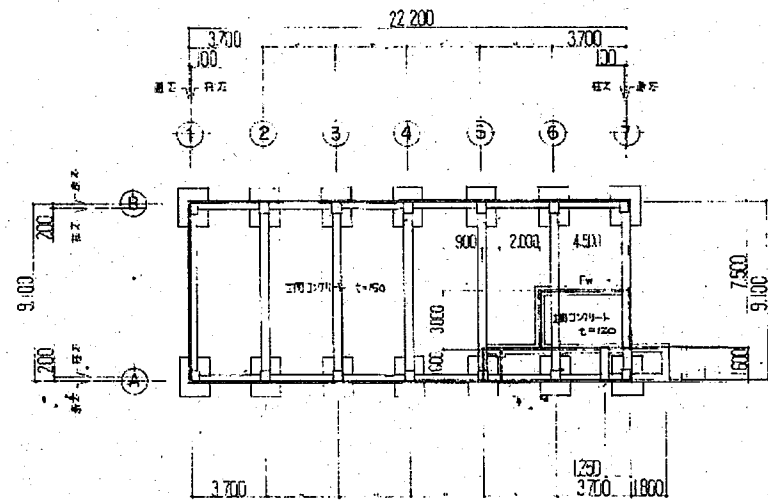
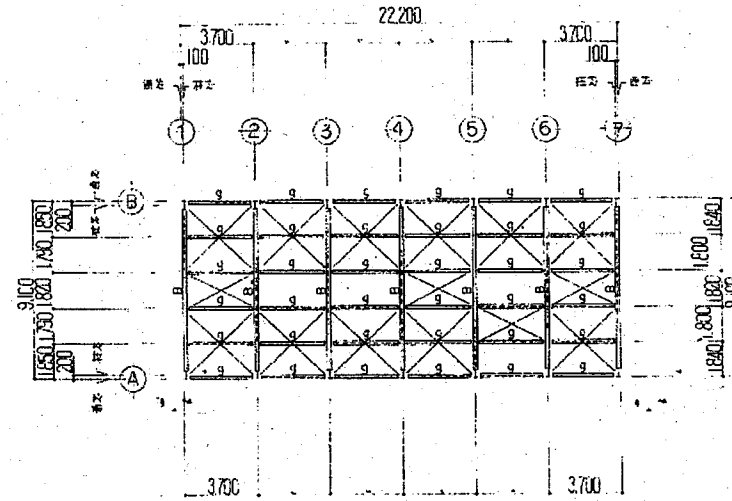


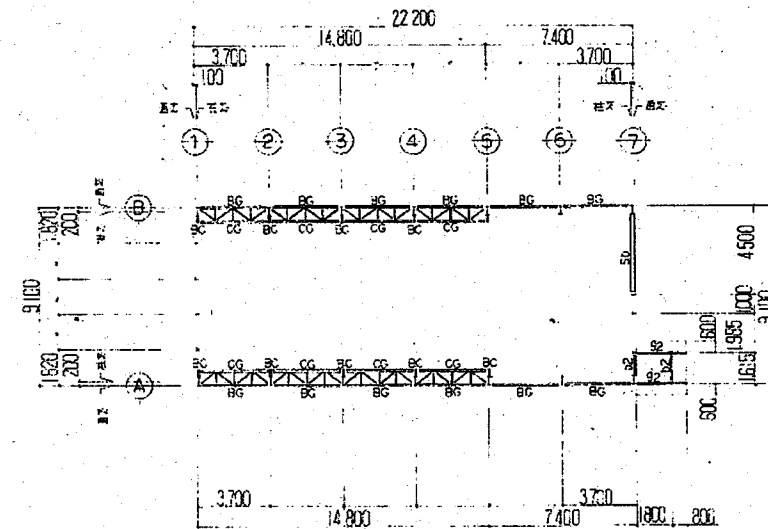
図	作業場、管理室 ×10 9	作業場、廊下 ×11 2	倉庫 ×3 3	作業場、倉庫、管理室、廊下 ×12 4	倉庫 ×2 5		ロッカー室 ×1 2
形式	無色透明強化被膜 (シルバー)	全戸	全戸	全戸	全戸		ビル用親子開きドア
仕上	無色透明強化被膜 (シルバー)	全戸	全戸	全戸	全戸		無色透明強化被膜 (シルバー)
ガラス	強化ガラス 4mm	全戸	全戸	全戸	全戸		型板 7mm
金物	付属金物一式	全戸	全戸	全戸	全戸		ガラス落し、サッシ付きサッシ・モロック、付属金物一式
備考	アンクル3方						アンクル3方
図	倉庫 ×1 1	作業場 ×1 2	管理室、倉庫 ×3 3	倉庫 ×3 4	倉庫 ×1 5	管理室 ×1 6	倉庫 ×2 7
形式	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア
仕上	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)
ガラス	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	アンクル3方						
図	作業場 ×1 2	廊下、作業場 ×2 3	倉庫 ×1 4	倉庫 ×1 5	倉庫 ×2 6		
形式	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア	親子開きフラッシュドア		
仕上	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)	無色透明強化被膜 (シルバー)		
ガラス	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm	強化ガラス 4mm		
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式		
備考	アンクル3方						



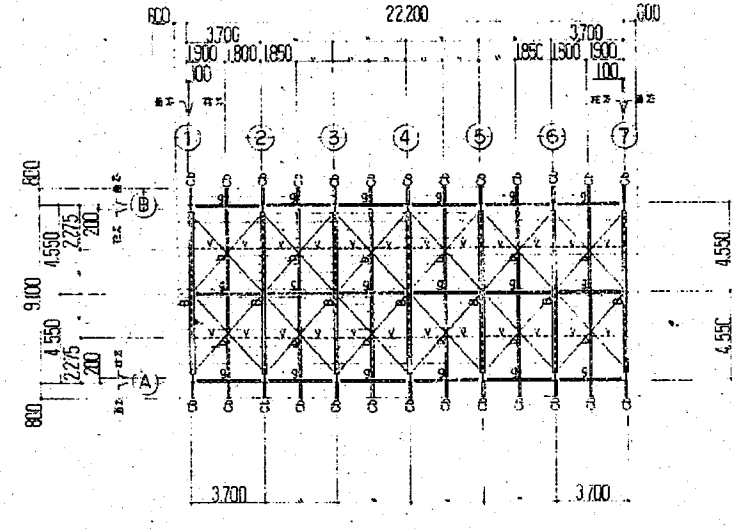
基礎伏図 S=1:20



1階柱2階床伏図 S=1:20



外壁・中壁伏図 S=1:20



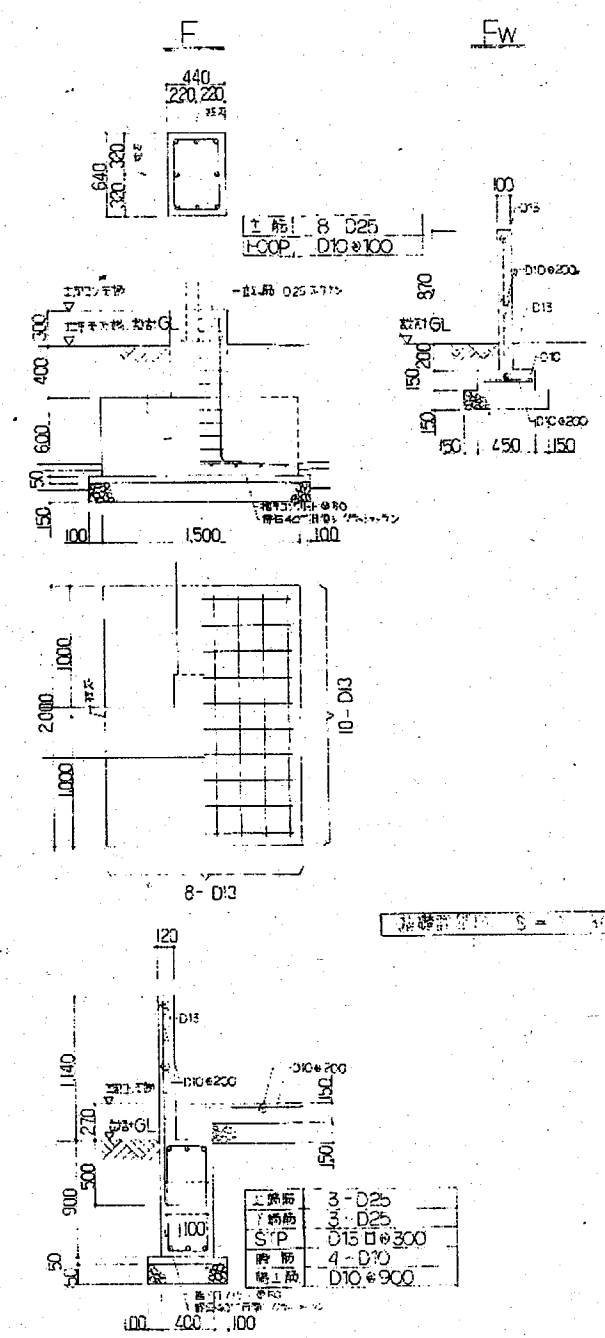
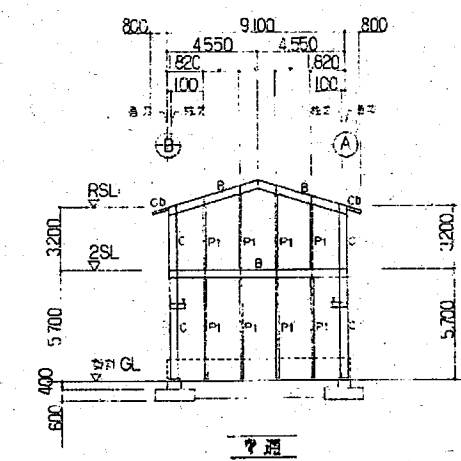
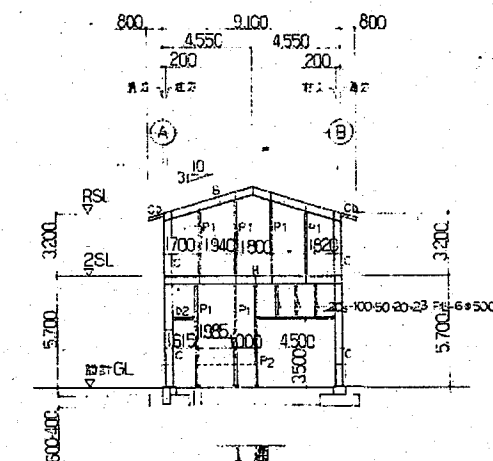
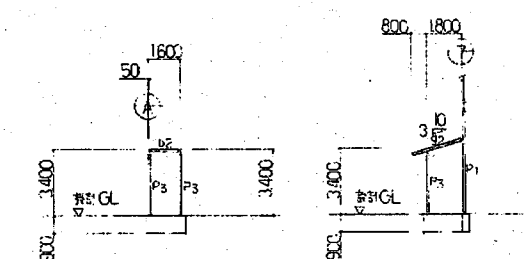
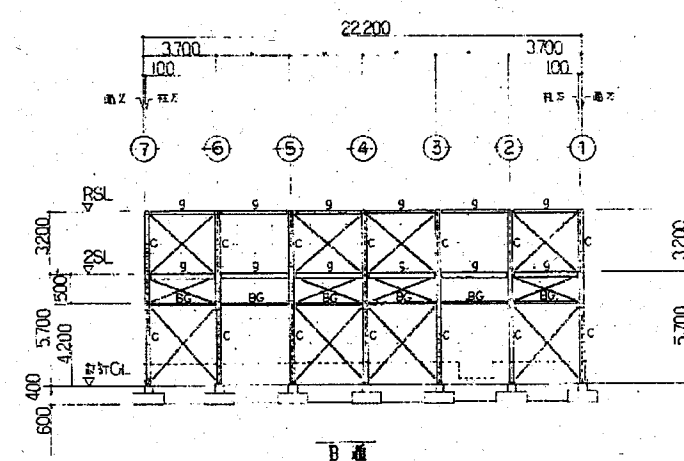
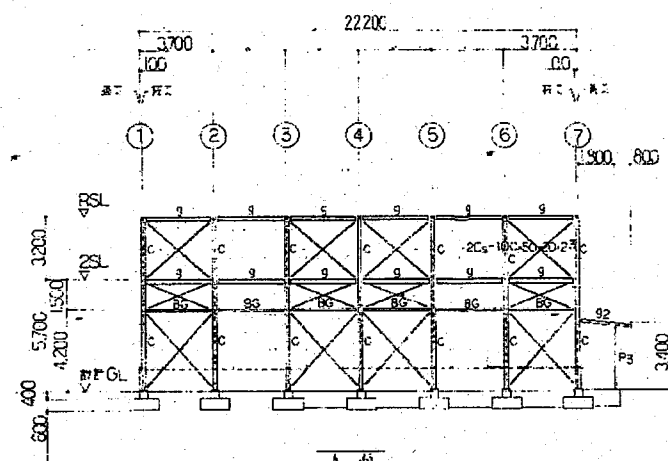
小床伏図 S=1:20

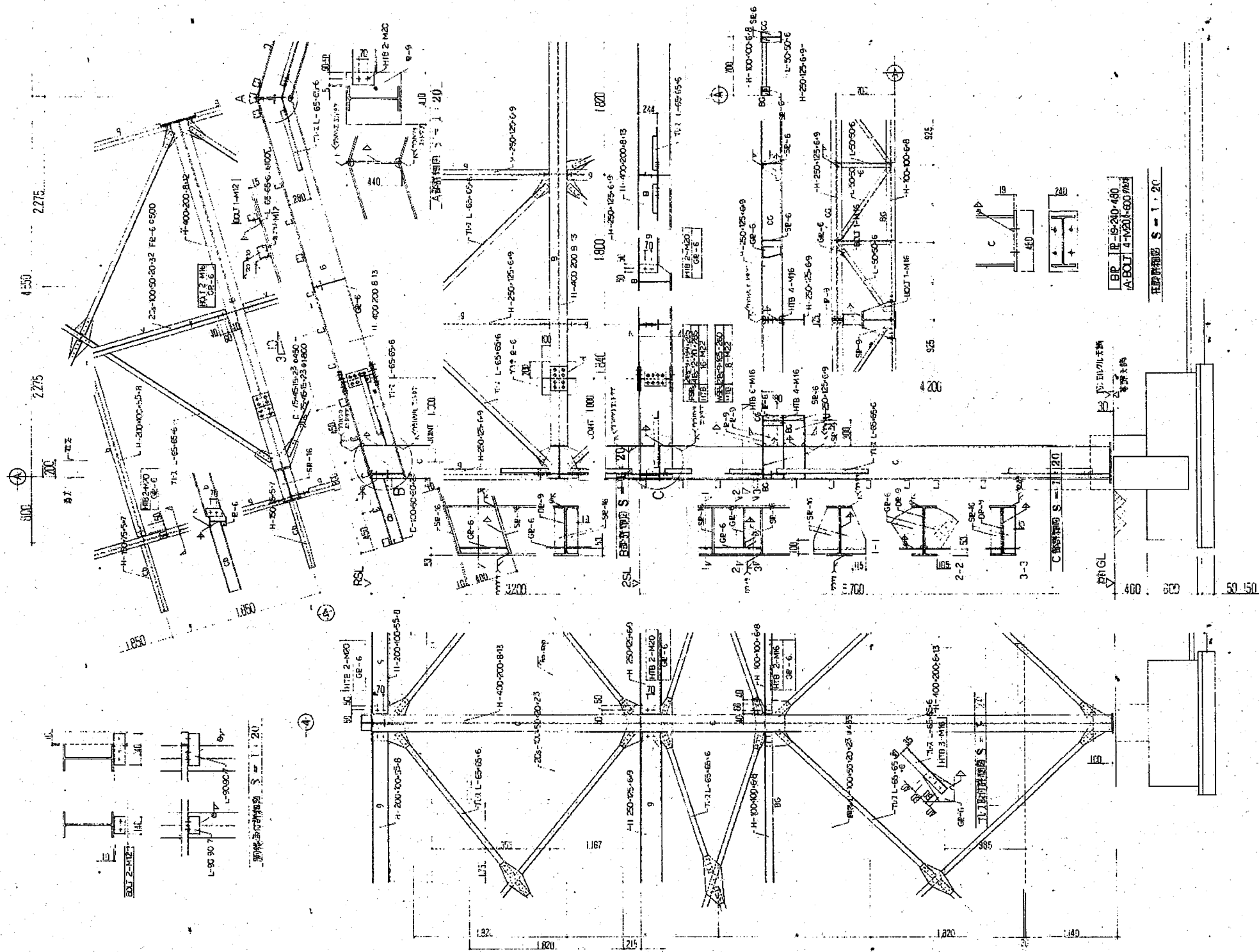
一般仕様

- 使用材料
鋼材: SS41, SSC41, STKR41
鉄筋: SD30
高圧ボルト (HTB): F10T TC付
中ボルト (BOLT): SS41
コンクリート: 普通コンクリート $F_c = 180 \text{ N/cm}^2$
- 基礎
設計地耐力: 表附 $f_e = 10 \text{ N/cm}^2$
- その他
杭打ち位置は 60 とする。

部材リスト

図号	使用部材
C	H-400×200×8×13
B	H-400×200×8×13
b, g	H-200×100×5.5×8
R, Cb	H-150×75×5×7
2, 9	H-250×125×6×9
C3, BC	H-250×125×6×9
BC	H-100×100×6×8
SD	H-250×125×6×9
D2	H-150×75×5×7
2, 9	H-125×125×6.5×9
C3	H-200×100×6×8
V	□-100×100×32
2C	□-100×50×20×32 Fe-6φ500
2C	□-75×45×15×23 φ450
2C	□-75×45×15×23 φ1800
鋼材	□-100×50×20×23 φ455
11-ス	□-65×65×6
スリット	Vφ 1×16





断面図 S = 1:20

有限会社 サクライ 設計

新潟県魚沼市小山島1209番地16 (小山島町)
 総務課 電話(025)192555 FAX 702-9900
 総務課 電話 2129555 管理課 板大 健

設計者等氏名

浅井 守人
 浅井 甲治

建築士登録番号等

一般建築士登録 第242222号
 建築士登録 第126055号

工事名称 横根就業センター解体工事

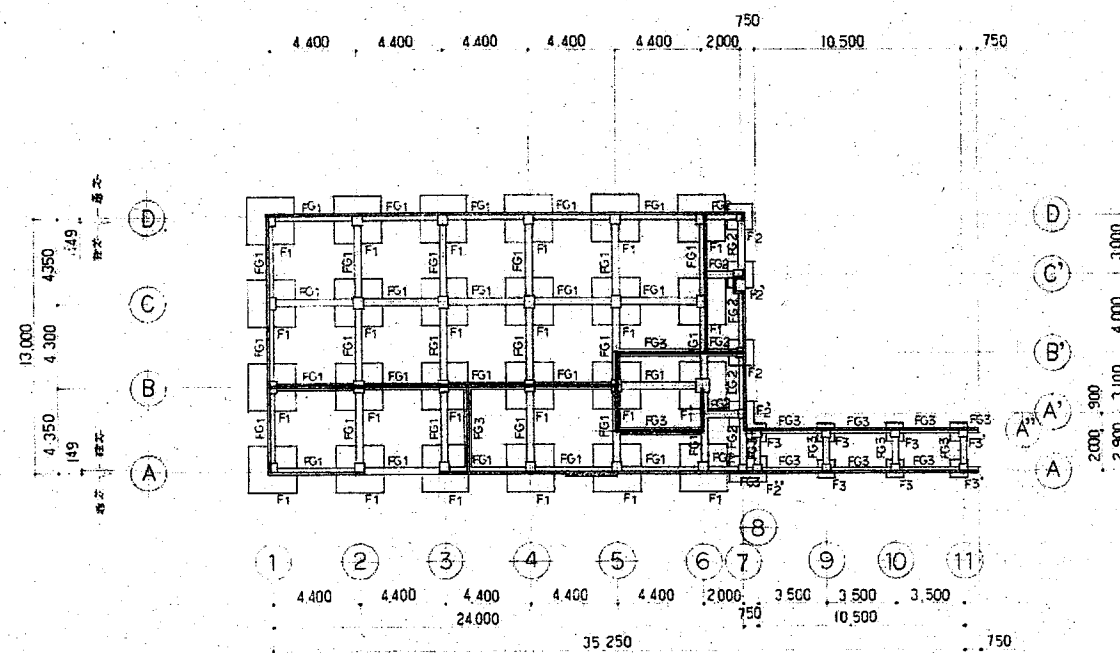
図面名称 ラーメン図

年月日 2022.07

縮尺 1/20

図面番号 S-03

章 電 機

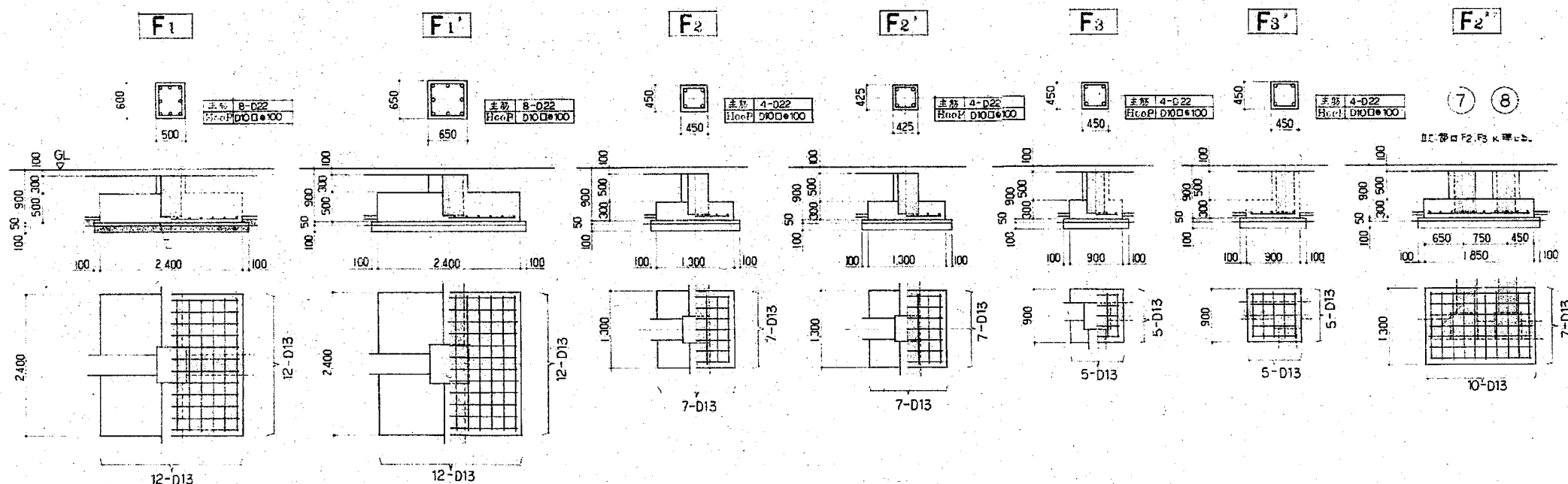
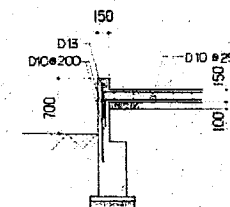


基礎伏図 S=1:200

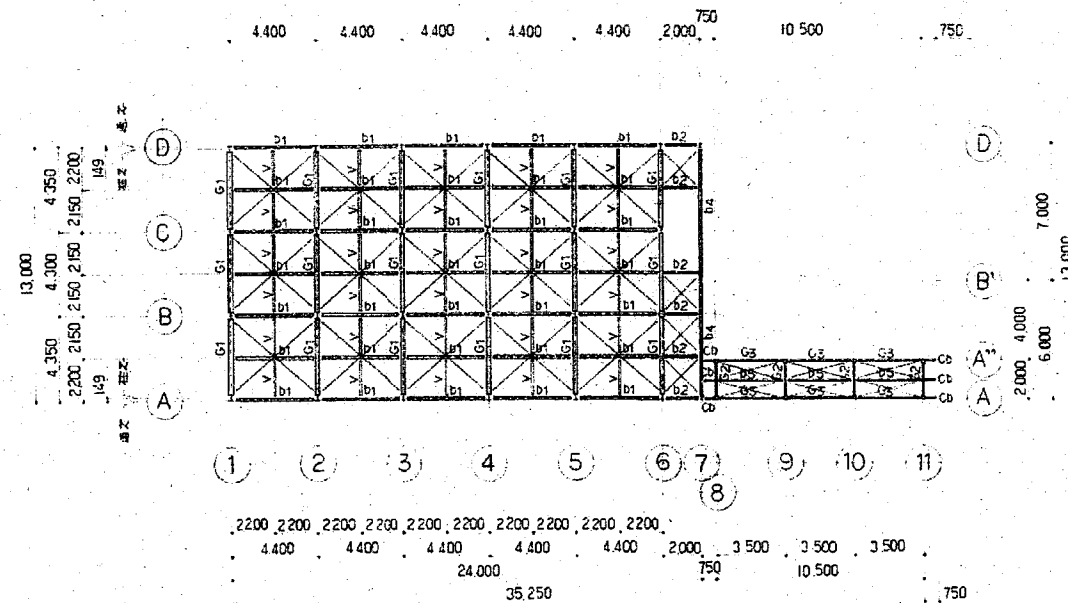
梁中継り部 S=1:50

梁	FG1	FG2	FG3
b x D (mm)	35 x 70	35 x 70	30 x 70
配置	中央		
上端筋	3-D22 2-D22	2-D22	2-D22
下端筋	2-D22 3-D22	2-D22	2-D22
STP	D10@200	D10@200	D10@200
底筋	2-D10	2-D10	2-D10
中継り	D10@1000	D10@1000	D10@1000

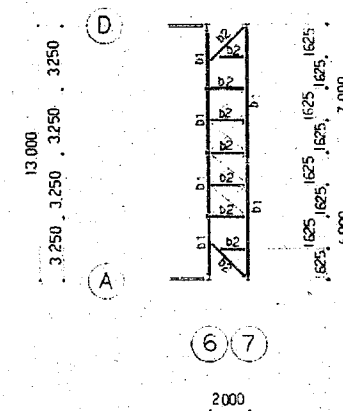
壁土間配筋図 S=1:50



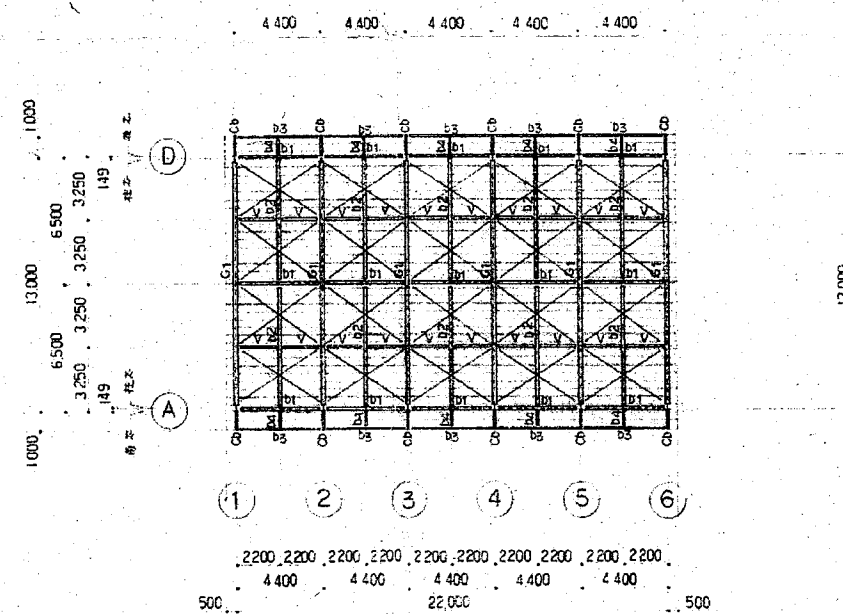
基礎詳細図 S=1:50



1階床伏図 S=1:200



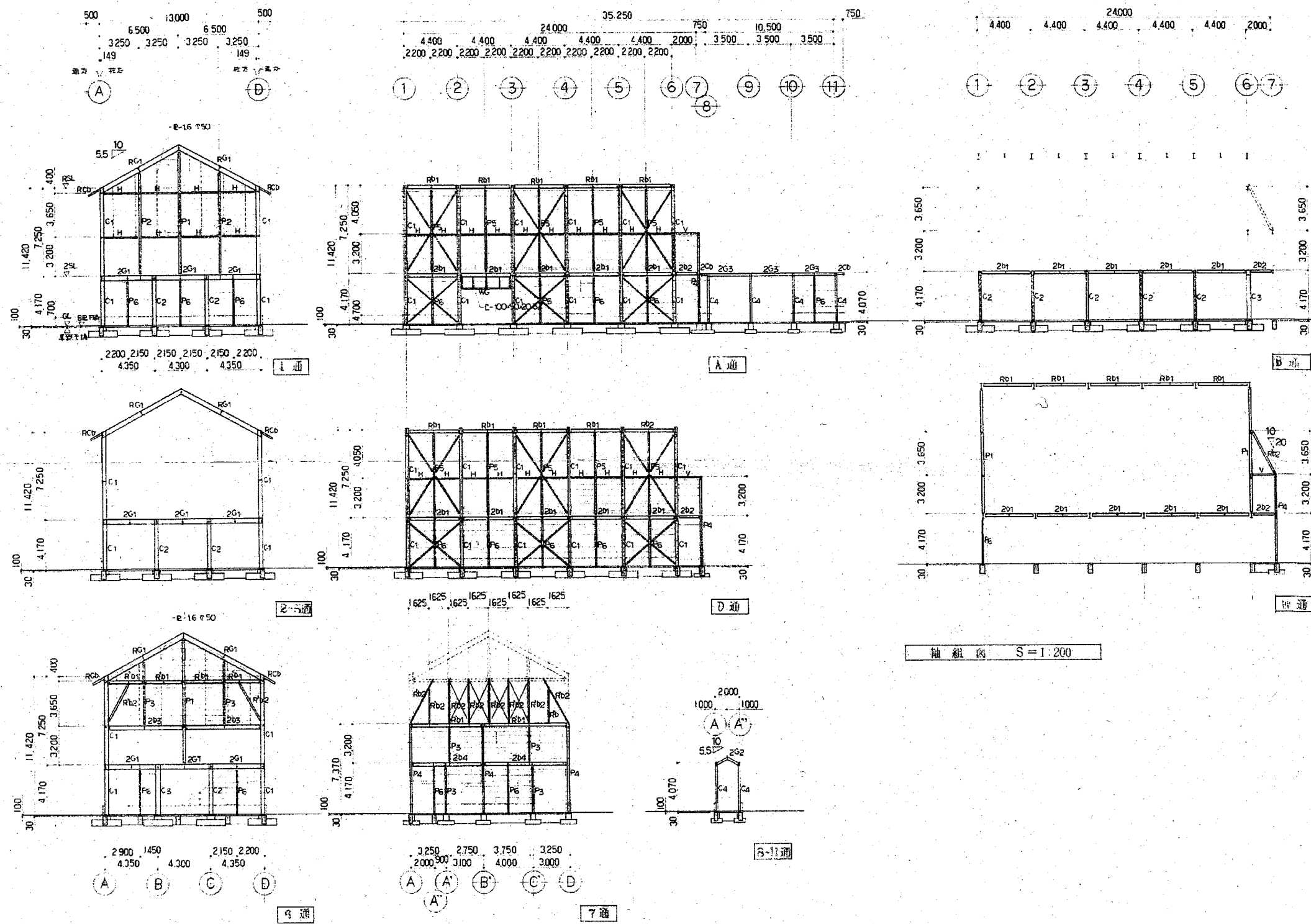
2階床伏図 S=1:200



2階床伏図 S=1:200

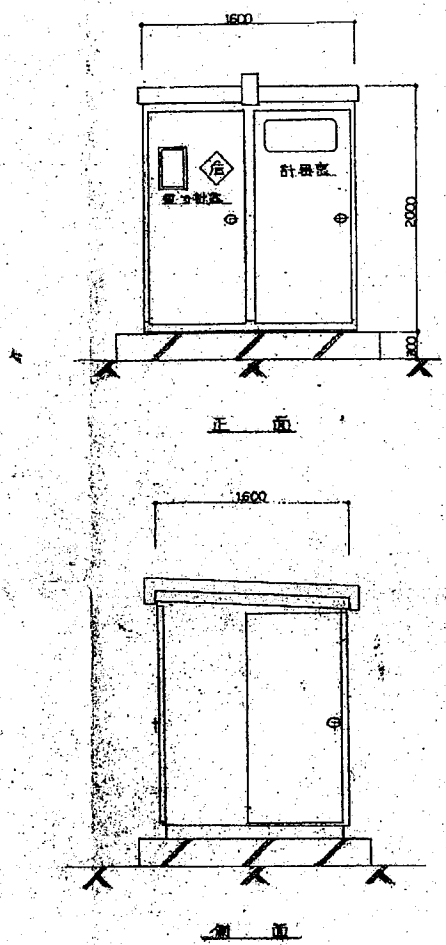
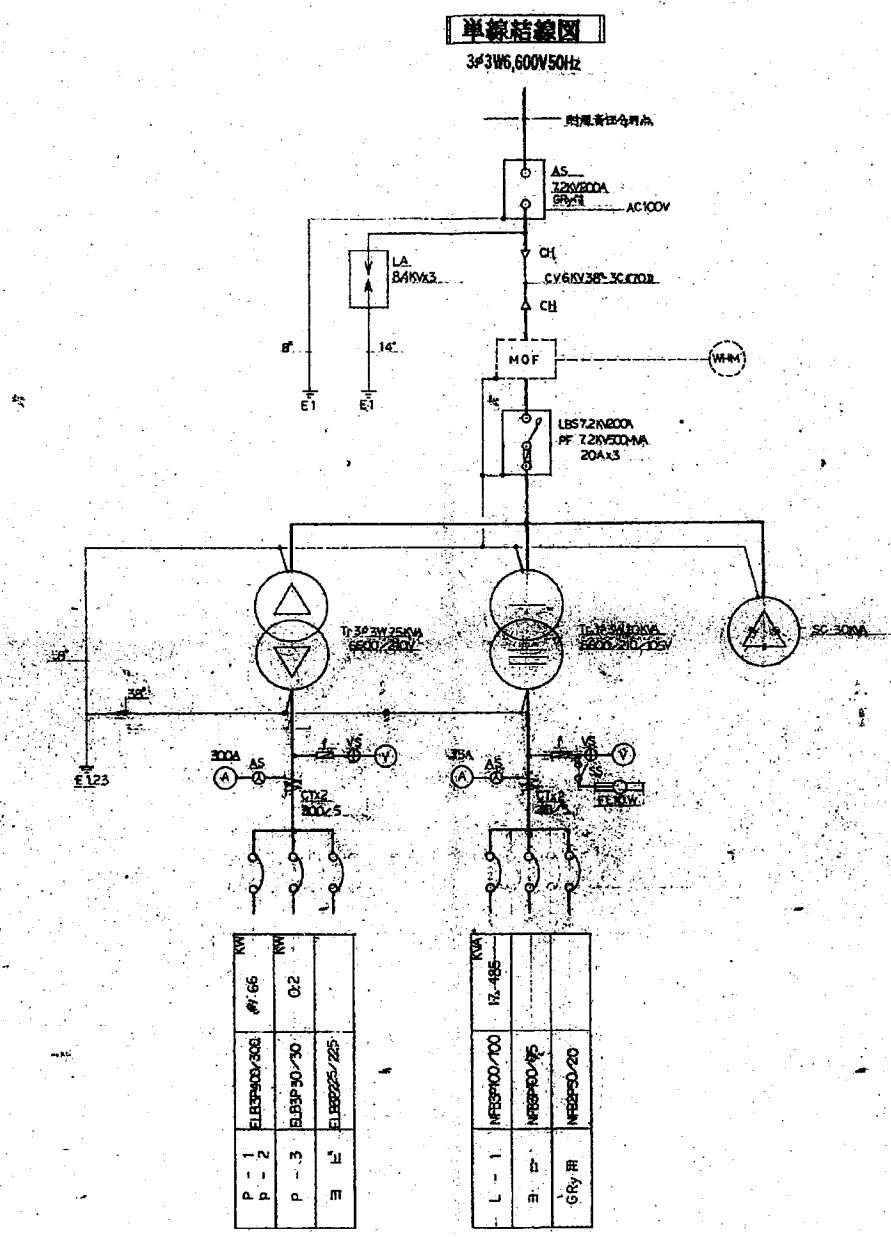
部材リスト

部材	仕様	数量	単位
G1	H-396×199×7×11	1	本
b1	H-250×125×6×9	1	本
b2	H-250×125×6×9	1	本
b3	H-150×150×7×10	1	本
b4	H-150×75×5×7	1	本
b5	H-150×75×5×7	1	本
b6	H-248×124×5×8	1	本
b7	H-150×75×5×7	1	本
G2	H-396×199×7×11	1	本
G3	H-175×90×5×8	1	本
b1	H-248×124×5×8	1	本
b2	H-200×100×5.5×8	1	本
b3	H-350×175×7×11	1	本
b4	H-248×124×5×8	1	本
b5	H-150×75×5×7	1	本
b6	H-150×75×5×7	1	本
C1, C2	H-298×201×9×14	1	本
C3	O-355.6×11.1	1	本
C4	O-150×150×6	1	本
P1	H-200×200×8×12	1	本
P2	H-175×175×7.5×11	1	本
P3	H-125×125×6.5×9	1	本
P4	H-150×150×7×10	1	本
P5	H-148×100×6×9	1	本
P6	H-100×100×6×8	1	本
WG	H-125×60×4.5×6.5	1	本
H	H-100×100×6×8	1	本

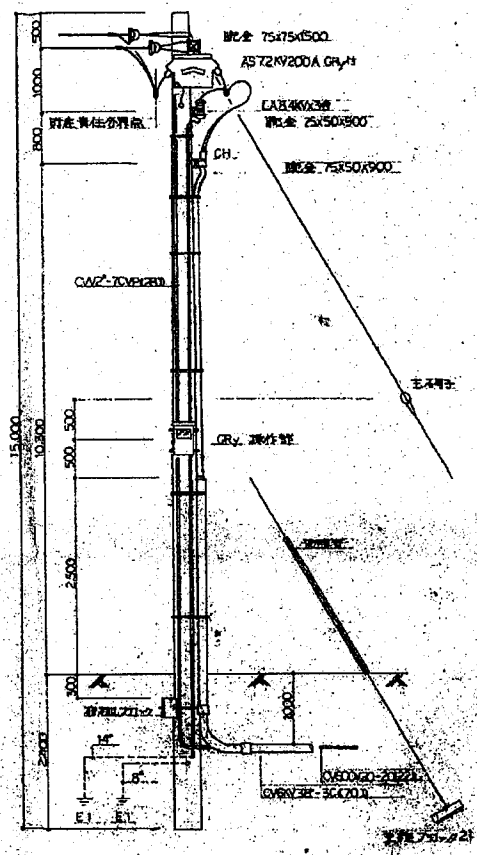


工事名称	新築
工事場所	秋田県 秋田市
建物概要	新築 3階建て 鉄骨造 延床面積 1,000㎡
工事基準	建築基準法 国土交通省 建築技術基準 建築基準法 国土交通省 建築技術基準
工事項目	1) 基礎工事 2) 躯体工事 3) 屋根工事 4) 内装工事 5) 外装工事 6) 設備工事
関連工事	A) 地盤改良工事 B) 基礎工事 C) 躯体工事 D) 屋根工事 E) 内装工事 F) 外装工事 G) 設備工事
別途工事	A) 電気工事 B) 水道工事 C) 暖房工事 D) 換気工事 E) 照明工事 F) 防音工事 G) 防振工事
材料リスト	本工事は使用材料は下記のとおりである。 材料名 単位 数量 単位 数量 単位 数量 鉄筋 ㎏ 100 鉄筋 ㎏ 100 鉄筋 ㎏ 100 コンクリート ㎥ 100 コンクリート ㎥ 100 コンクリート ㎥ 100 砂 ㎥ 100 砂 ㎥ 100 砂 ㎥ 100 セメント ㎥ 100 セメント ㎥ 100 セメント ㎥ 100 木材 ㎥ 100 木材 ㎥ 100 木材 ㎥ 100 ガラス ㎡ 100 ガラス ㎡ 100 ガラス ㎡ 100 タイル ㎡ 100 タイル ㎡ 100 タイル ㎡ 100 照明器具 台 100 照明器具 台 100 照明器具 台 100 換気扇 台 100 換気扇 台 100 換気扇 台 100 暖房器具 台 100 暖房器具 台 100 暖房器具 台 100
その他	A) 本設計図に明記されておらず、工事上当り必要な材料は施工者の負担において、施工者が負担する。 B) 工事完了後、施工者、設計者、監理者、施工関係等は、所有と打合せの上で提出する。 C) 本設計図以外、承認書、施工関係等は、所有の承認を受けて施工に当てる。 D) 関係上、仕方の標準と関係する、所有と打合せ。その指示に従うものとする。

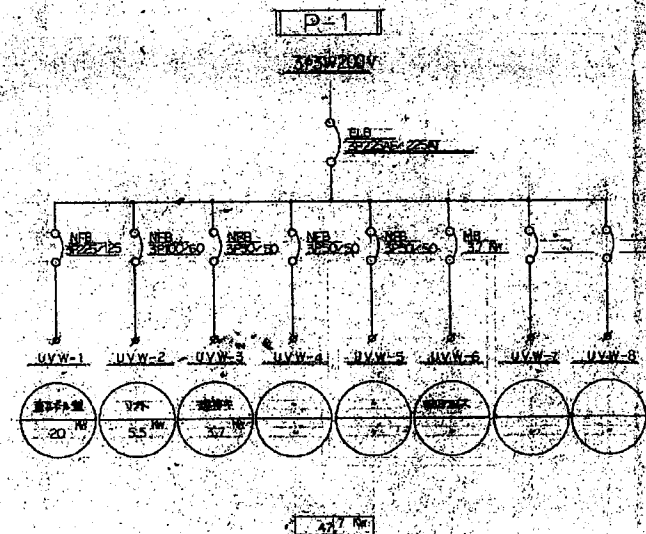
[illegible]

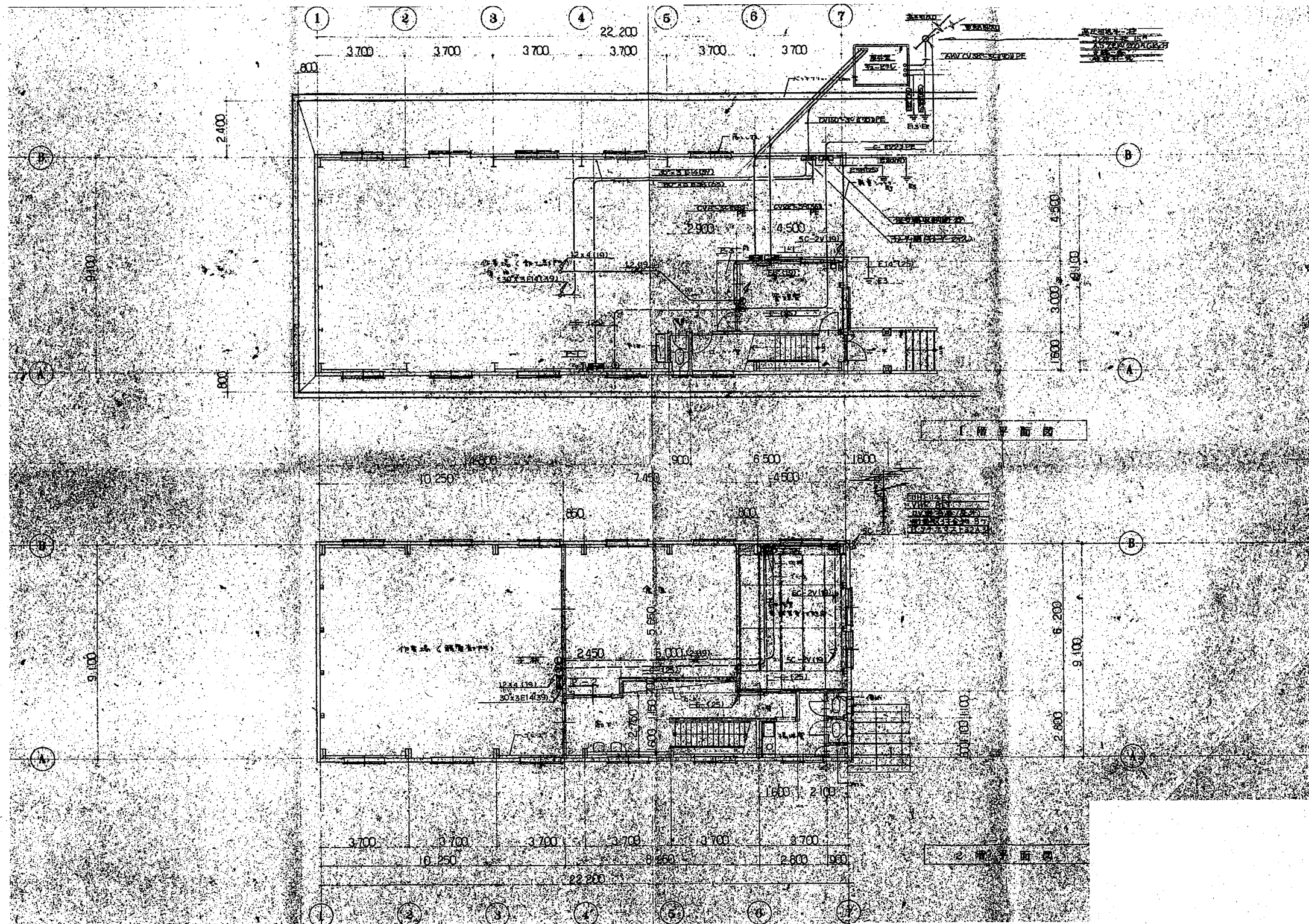


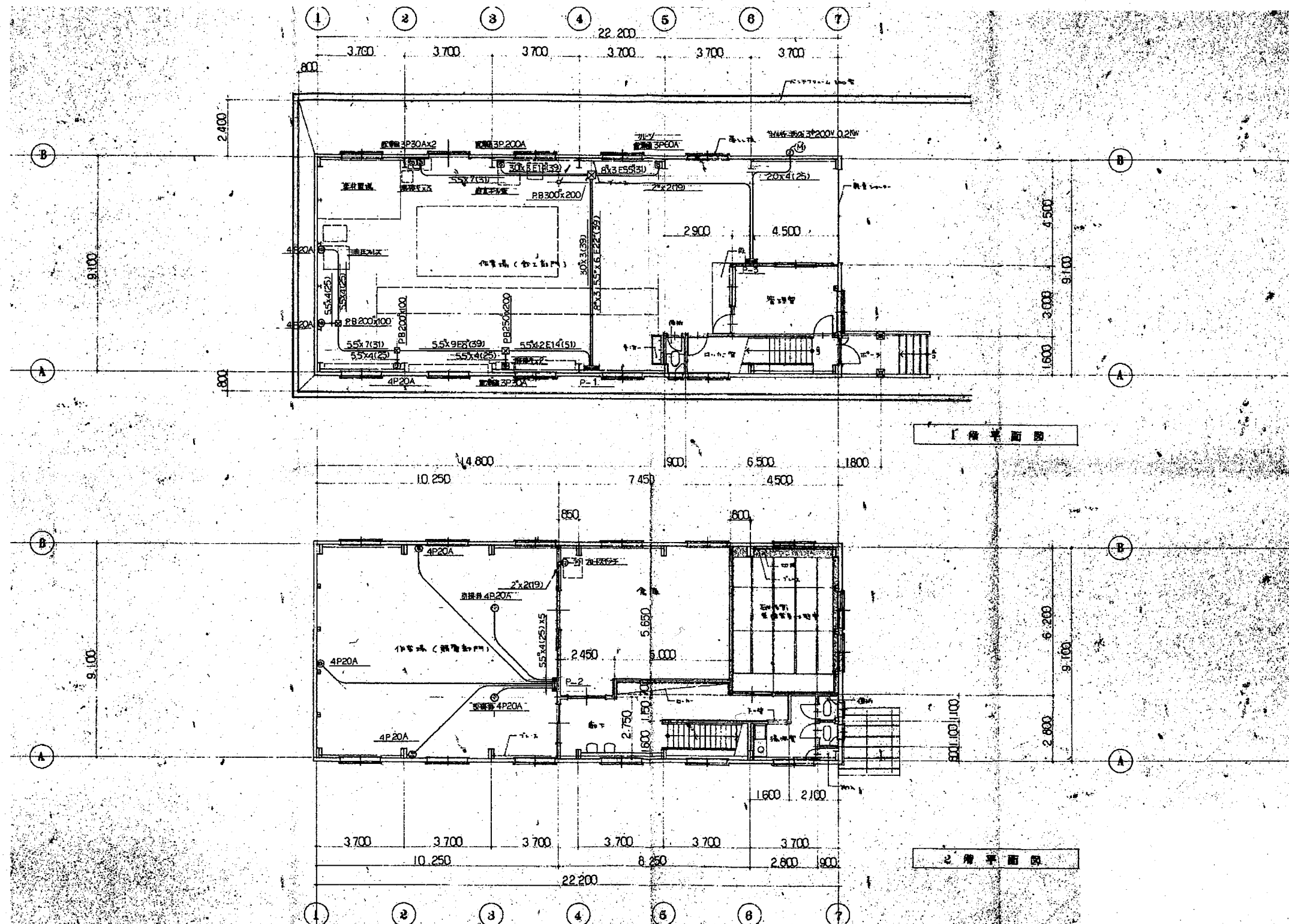
電気設備配置図

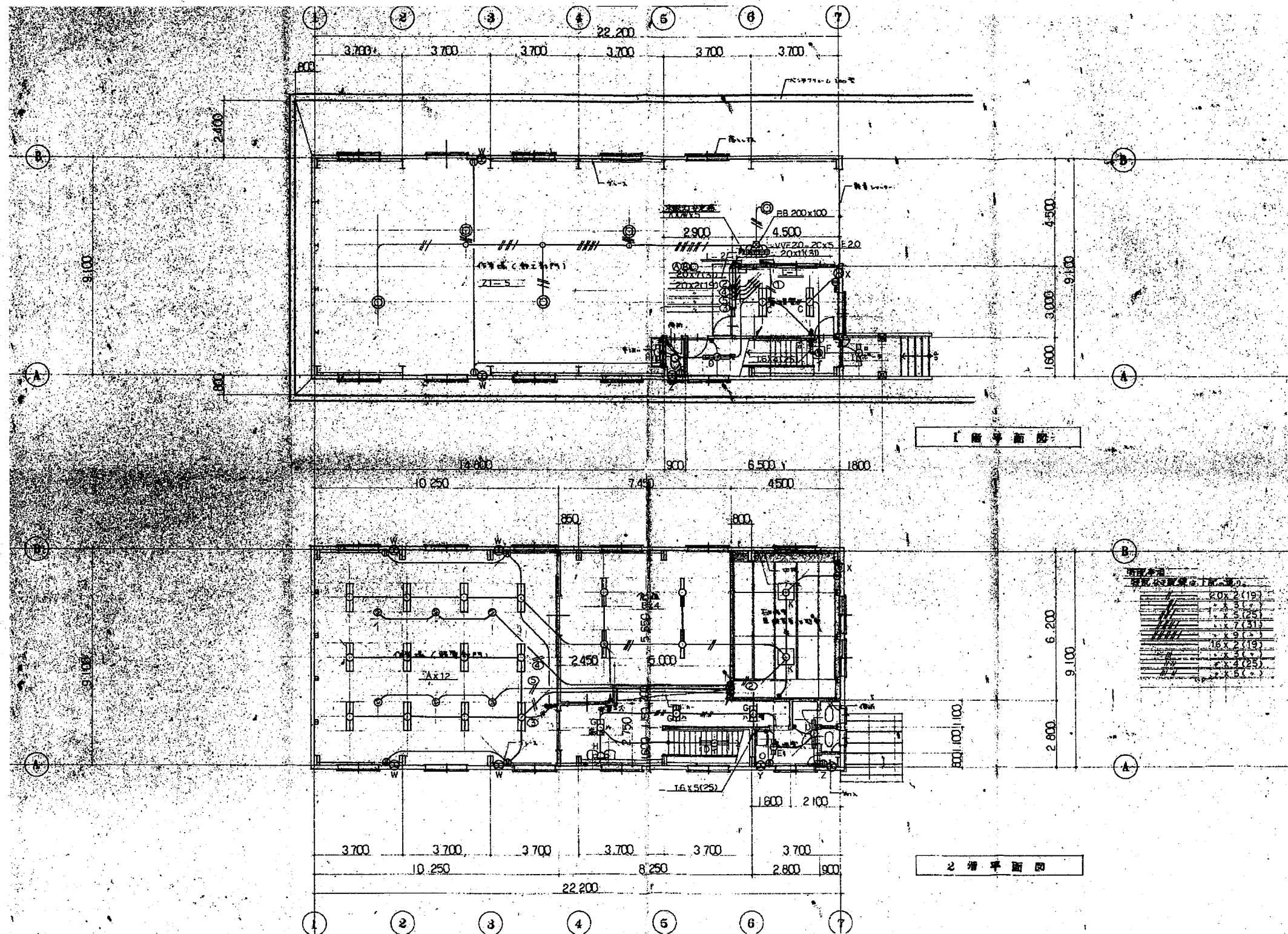


引込線図

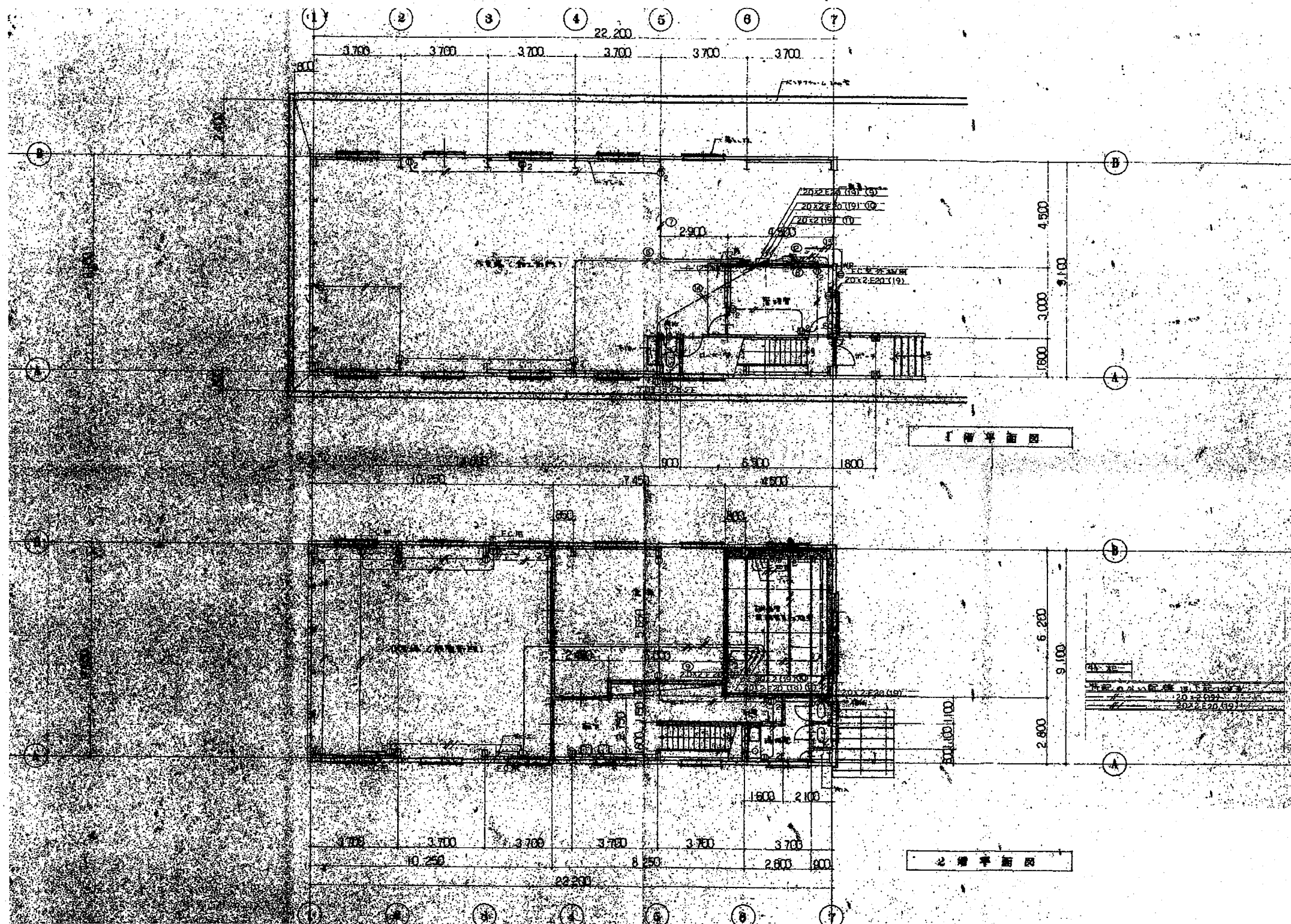




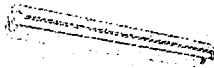

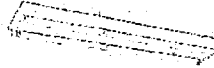
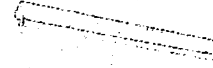
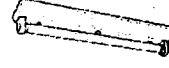

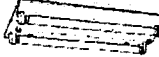

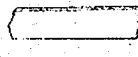
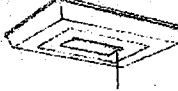










材料	数量
20x2 (19)	1
18x2 (19)	1
16x2 (19)	1
14x2 (19)	1
12x2 (19)	1
10x2 (19)	1
8x2 (19)	1
6x2 (19)	1
4x2 (19)	1
2x2 (19)	1



照明器具 姿図

A FL 40W x 2 高効率  チエーン吊 ワニ型吊具 1M 1組	B FL 40W x 1 高効率  チエーン吊 ワニ型吊具 0.5M 1組	C FL 40W x 2 高効率 	D FL 40W x 1 高効率 	E FL 20W x 1 	
F FCL 40W+30W 	G FL 20W x 2 	H FL 15W x 1 	I FL 20W x 1 防雨型 	K FL 20W x 4 チエーン吊 ワニ型吊具 0.5M 1組 	
W 換気扇 300 x 吊钩式 木枠フード付 	X 換気扇 250 x 吊钩式 木枠フード付 	Y 換気扇 200 x 吊钩式 木枠フード付 	Z バイブファン 100 x 	Z1 HF700W 変圧器 200V 高効率一般型 広範囲タイマ 	Z2 IL40W 

機械設備工事特記仕様書

工事場所 北見市入道町大字地区内

衛生設備工事特記仕様

- 衛生設備の仕様は、次のとおりとする。
 1. 衛生設備
 2. 排水設備
 3. 給水設備
 4. 給湯設備
 5. 給排水設備
- 衛生設備の仕様は、次のとおりとする。
 1. 衛生設備
 2. 排水設備
 3. 給水設備
 4. 給湯設備
 5. 給排水設備

衛生設備工事特記仕様

衛生設備の仕様は、次のとおりとする。

1. 衛生設備
2. 排水設備
3. 給水設備
4. 給湯設備
5. 給排水設備

衛生設備工事特記仕様

衛生設備の仕様は、次のとおりとする。

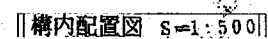
1. 衛生設備
2. 排水設備
3. 給水設備
4. 給湯設備
5. 給排水設備

工事場所 北魚沼郡入舟瀬村大字横根地内

① 調査員が統計調査員に記載されない事項は、すべて新制高校設置工事派遣使員（昭和47年度）による。
② 昭和47年度
(1) 項目は①の②のついたものを適用する。
被記事項は③のついたものを適用する。
(2) ③のついた場合は④のものも適用する。
④ 昭和47年度の場は⑤と⑥に適用する。
(3) 被記事項に記載の① 内容と異なる、機械給油車等派遣使員の当該項目は当該表を示す。

[illegible][illegible]

電 路 表									
電 路 名	電 路 種 別	電 路 長 度 (km)	電 路 電 圧 (V)	電 路 電 流 (A)	電 路 電 力 (kW)	電 路 電 阻 (Ω)	電 路 電 感 (H)	電 路 電 容 (F)	電 路 電 容 率 (pF/km)
1. 東京 - 大阪	電力	280	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
2. 東京 - 名古屋	電力	150	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
3. 東京 - 京都	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
4. 東京 - 福岡	電力	400	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
5. 東京 - 札幌	電力	500	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
6. 東京 - 仙台	電力	200	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
7. 東京 - 青森	電力	150	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
8. 東京 - 盛岡	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
9. 東京 - 秋田	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
10. 東京 - 山形	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
11. 東京 - 福島	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
12. 東京 - 茨城	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
13. 東京 - 千葉	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
14. 東京 - 埼玉	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
15. 東京 - 群馬	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
16. 東京 - 栃木	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
17. 東京 - 神奈川	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
18. 東京 - 山梨	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
19. 東京 - 長野	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
20. 東京 - 岐阜	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
21. 東京 - 富山	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
22. 東京 - 石川	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
23. 東京 - 福井	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
24. 東京 - 滋賀	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
25. 東京 - 京都	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
26. 東京 - 大阪	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
27. 東京 - 名古屋	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
28. 東京 - 福岡	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
29. 東京 - 札幌	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
30. 東京 - 仙台	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
31. 東京 - 青森	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
32. 東京 - 盛岡	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
33. 東京 - 秋田	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
34. 東京 - 山形	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
35. 東京 - 福島	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
36. 東京 - 茨城	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
37. 東京 - 千葉	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
38. 東京 - 埼玉	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
39. 東京 - 群馬	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
40. 東京 - 栃木	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
41. 東京 - 神奈川	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100
42. 東京 - 山梨	電力	100	110	100	11	1.5	0.01	0.001	100



	客 車 票 價											
	HW-1 15 公里	HW-15 25 公里	HW-20 25 公里	HW-25 30 公里	HW-30 35 公里	HW-40 45 公里	HW-50 55 公里	HW-60 65 公里	HW-70 75 公里	HW-80 85 公里	HW-90 95 公里	HW-100 105 公里
正座普通票	0.11	1.205	1.505	1.605	2.115	2.735	3.125	3.255	4.545	5.165	5.785	6.235
硬座快車	0.505	0.550	0.550	0.555	1.035	1.512	1.562	2.217	2.716	3.215	3.714	3.930
軟座普通	0.164	0.215	0.279	0.286	0.376	0.462	0.506	0.551	0.716	0.846	0.936	1.000
特等座	0.014	0.014	0.024	0.024	0.024	0.045	0.045	0.045	0.078	0.078	0.078	0.078
兒童	0.597	0.204	0.264	0.264	0.351	0.435	0.473	0.51	0.53	0.595	0.629	0.666

